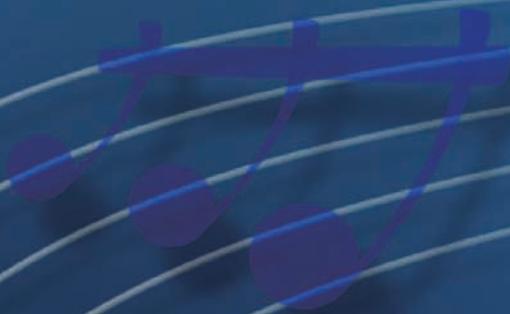


KAWAI
もっと伝えたい、感動を。



環境社会報告書 2012



株式会社 河合楽器製作所



人に感動を与えるもの
すべてを創りたい

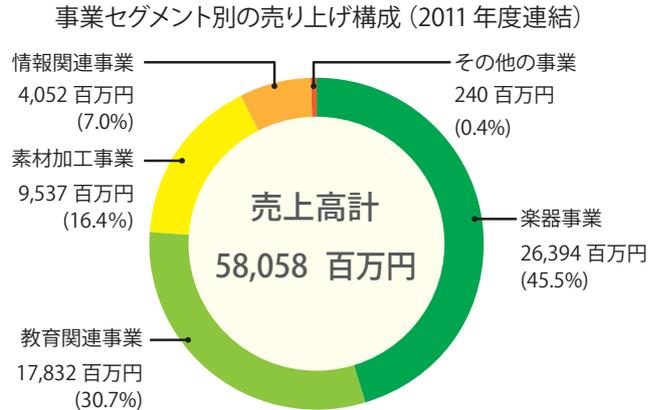
KAWAI
GRAND PIANO FACTORY, RYUYO



カワイグループの事業と会社の概要

社名 株式会社河合楽器製作所
 本社 静岡県浜松市中区寺島町 200 番地
 創立 1927 年（昭和 2 年）8 月 9 日
 設立 1951 年（昭和 26 年）5 月 15 日
 代表者 代表取締役社長 河合弘隆
 資本金 6,609 百万円（2012 年 3 月末現在）

年度		2009	2010	2011
売上高 (百万円)	単独	47,241	49,798	47,986
	連結	56,057	58,601	58,058
従業員数 (名)	単独	1,648	1,561	1,469
	連結	2,851	2,830	2,784



カワイグループの主な事業

楽器事業

ピアノ、電子楽器、管・弦・打楽器、楽器付属品、楽器玩具の販売及び楽器調律・修理の役務提供業務

- 国内での販売
全国直営店・販売代理店
(株)ディアパソン 他
- 海外での販売
カワイアメリカコーポレーション
カワイヨーロッパ GmbH
カワイカナダミュージック Ltd.
カワイオーストラリア PTY.Ltd.
ミディミュージックセンター Inc.
PT. カワイミュージックインドネシア
河合貿易(上海)有限公司
カワイ UK Ltd.
海外販売代理店及び商社
- 楽器の調律・修理
(株)河合楽器製作所 調律サービス部
- 楽器の国内での製造
(株)河合楽器製作所 竜洋工場
- 楽器の海外での製造
PT. カワイインドネシア
河合楽器(寧波)有限公司



教育関連事業

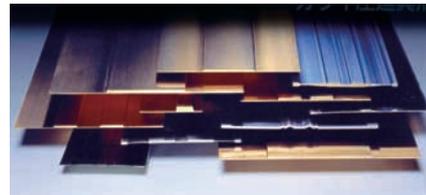
音楽教室・体育教室の運営、教材販売、楽譜・音楽教育用ソフトの製造及び販売



素材加工事業

電子電気部品用金属材料加工、自動車部品用材料加工、防音室・音響部材の製造及び販売

- 金属異形圧延加工品の製造 (株)カワイ精密金属
- 自動車部品用材料の製造 (株)カワイハイパーウッド
- 防音室・音響部材の製造及び販売 (株)カワイ音響システム

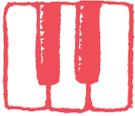


情報関連事業

- IT 機器の販売・保守及びコンピュータソフトウェアの開発・販売
(株)カワイビジネスソフトウェア

その他の事業

- 金融関連事業、保険代理店事業
(株)カワイアシスト



編集方針

内容

カワイグループにおける環境活動側面に加え 2003 年度からはコンプライアンス等社会的側面を掲載し企業における社会的責任の視点を充実させ 2004 年度版からタイトルも「環境報告書」から「環境社会報告書」に変更いたしました。

なお、経済側面につきましては、概要を前ページに記載しました。

カワイグループの事業内容の詳細はホームページをご参照願います。

対象

お客様、お取引先、従業員、株主・投資家、地元住民・NGO、行政・国際機関など多様なステークホルダーの皆様を対象としています。

2012 年版について

- 出来得る限り各項目ごとに方針（ポリシー）を記述し、皆様にカワイグループの取り組みをわかりやすく伝えるように努めました。
- 事業活動にともなう環境配慮につきまして環境側面ごとにまとめました。
- 関連資料は資料編にまとめました。
- インターネット環境の普及や紙資源の節約を考慮し、2009 年版から、紙媒体でなく、ホームページ上での公開とさせていただいております。

報告対象期間

- 2011 年度（2011 年 4 月～2012 年 3 月）を主体としていますが、一部重要な事項につきましては 2012 年 4 月以降の最新情報を含んでいます。
- 集計方法の見直しなどにより既報データを一部修正し掲載した項目・数値があります。

報告対象組織

- (株)河合楽器製作所 本社・竜洋工場
- 国内営業部門
- カワイ精密金属(株)
- (株)カワイハイパーウッド
- (株)カワイ音響システム



目次

企業概要	1
カワイグループの事業と会社の概要	2
編集方針	3
目次	3
はじめに	4
社長コミットメント	4
カワイの経営の理念・行動指針	5
カワイグループのあゆみ	6
東日本大震災 被災地域への継続的支援活動	7
東日本大震災 被災地域への支援活動	7
環境報告	9
カワイの環境への取り組み	9
地球環境憲章 / 環境方針 / 環境推進組織	9
環境経営	10
2011 年度の環境目標と実績	10
事業活動に伴う環境配慮	11
地球温暖化の防止	11
製品の環境負荷 (LCA)	12
廃棄物削減・再資源化	13
グリーン調達	14
環境配慮型製品	15
ANYTIME(エニタイム)X	15
ファインアイボリー白鍵 & ファインエボニー黒鍵	15
サイエンスナサール	16
省電力	17
環境パフォーマンス	18
マテリアルバランス	18
社会性報告	19
経営計画	19
第 3 次中期経営計画	19
コーポレート・ガバナンス	20
株主・投資家の皆様とともに	23
お客様との関係	24
文化貢献活動	24
コミュニケーション	28
地域社会との共生	28
情報発信	30
資料編	32
環境負荷サイト別一覧	32
第三者意見	33
アンケートのお願い	34

カワイホームページアドレス

カワイホームページ	http://www.kawai.co.jp/
環境への取り組み	http://www.kawai.co.jp/company/activity/ambience.asp
IR サイト	http://www.kawai.co.jp/ir/
製品情報	http://www.kawai.co.jp/products.asp
直営店情報	http://shop.kawai.co.jp/
健康事業	http://www.kawai.co.jp/kenkou/
文化貢献事業	http://www.kawai.co.jp/company/activity/culture.asp
教育事業	http://www.kawai.co.jp/school/
カワイ音楽教室	http://www.kawai.co.jp/school/music/



快適で豊かな生活環境の創造のために

社長コミットメント

2011年3月、千年に一度と言われる東日本大震災と津波では多くの方々が被災されました。被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をカワイグループ一同、心よりお祈り申し上げます。

カワイグループも微力ながら、震災直後から全社統一スローガン『がんばろう日本!つながろう音楽で!~カワイは「日本の元気」を応援します~』を掲げ、義援金の寄託のほか、とくに楽器メーカーならではの復興支援に力を注いでまいりました。

音楽教室・体育教室の講師による被災地の避難所訪問や、カワイ表参道「パウゼ」での総勢27名の著名なピアニストによる全9回のチャリティーコンサート、浜松での秦万里子さん出演の「カワイチャリティーコンサートー被災地にピアノを届けたいー」の収益金による被災地へのピアノの寄贈など、いろいろなかたちで被災地の復興支援を継続してまいりました。

今後も音楽を通じて、被災地の方々の心に届く復興支援活動を継続してまいります。

さて、2012年度が最終年度となります第3次中期経営計画では、将来を見据えた事業基盤づくりと持続的発展のための構造改革に取り組んでおります。基本方針を「成長市場へ向けたチャレンジ」と「基盤事業の構造改革による収益性向上」とし、7つの重点戦略、①グローバルブランドの確立 ②中国市場で総合力を発揮 ③国内市場の効率的販売体制構築 ④ピアノ世界販売の拡大 ⑤さらに魅力ある音楽教室をめざす ⑥全年齢の健康づくり支援事業拡大 ⑦金属事業の生産体制強化を推進しております。

環境分野では楽器用木材資源の有効活用、木材に代わる素材の活用、防音室による快適音環境の提供に取組み、健康分野ではリトミック教育、大人の音楽教室、子供から高齢者までの体育・健康教室、介護予防教室などの事業分野での成長を目指します。

カワイグループは「環境への配慮」として業界に先駆け、ピアノ生産部門でいち早く環境マネジメントシステムISO14001を導入しました。2012年にはインドネシア、中国の海外生産工場でもISO14001の導入を進め、環境マネジメントにおいてもグローバル化を進めています。さらに、インドネシアでの植林活動、ピアノの再生利用など循環型社会形成のための活動にも継続して取り組んでおります。

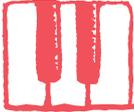
現代は地球温暖化、エネルギー・資源問題など地球規模の課題を多く抱えておりますが、カワイグループは持続可能な社会の実現と音楽文化の発展に貢献することを基本に、皆様の生活、文化、環境に貢献できる企業として努力を続けていく所存です。

カワイグループの環境・社会面の活動を本報告書にまとめました。今後とも皆様のご理解をいただき、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。



代表取締役社長

河合弘隆



カワイの経営の理念・行動指針

創業以来、私たちはより良い楽器作りと音楽文化への貢献を目的として企業活動を続けてまいりました。社会や産業の構造が大きく変化し続ける現在において、より幅広く人々の生活文化に貢献してゆくために、カワイは次の通りの経営理念及び行動指針に則り、企業活動を推進してまいります。

カワイの経営の理念・行動指針

創業以来私たちはより良い楽器作りと音楽文化への貢献を目的として企業活動を続けてきた。

社会や産業の構造が大きく変化する中で、私たちがより幅広く人々の生活文化に貢献してゆくため、また新時代にむけて新しいカワイを創生させるため、ここに新経営の理念を制定するものである。

経営の基本的な考え方と方向性

カワイの原点は音楽
社会貢献

顧客志向性
企業倫理

新しい時代への対応
持続社会

闊達な企業風土の創造
社会的責任

経営の理念

創造性豊かな好感度企業を旨として

快適で豊かな生活環境を創造します
お客様の満足を第一に商品・サービスを提供します
新しい時代に向かって企業活動を推進します
社員を大切に、明るい企業をめざします

行動指針

現状に満足せず、常に開拓者精神に燃えて

失敗を恐れずアグレッシブに行動しよう
常に向上心を持ち自己研鑽に励もう
豊かな創造性を発揮し、変化する時代に挑戦しよう
自然との共生を大切にし、社会に役立つ活動を積極的に行おう
音楽文化の担い手として、自信と誇りを持って行動しよう

カワイグループ全体の活動の根底をなすもの

積極果敢

自己の向上

挑 戦

地球環境保護活動

継 続

KAWAI

1996年4月1日制定



事業沿革と環境活動の歴史

カワイグループのあゆみ

事業沿革		環境活動	
1927	河合小市 河合楽器研究所を創立 ピアノの製造・販売を開始	1920	
1929	河合楽器製作所と改称		
1935	合名会社河合楽器製作所と改組	1950	
1951	株式会社河合楽器製作所と改組		
1955	河合滋 社長に就任	1960	
1956	カワイ音楽教室を創設		
1961	ピアノ組立工場として舞阪工場完成		
1963	アメリカにカワイアメリカコーポレーションを設立		
1966	カワイ音楽教室中央講師養成所(カワイ音楽学園)を創設	1970	
1967	カワイ体育教室を創設		
1976	西ドイツにカワイドイツランド GmbH を設立		
1979	西ドイツにカワイヨーロッパ GmbH を設立	1980	
1980	金属圧延加工のカワイ精密金属(株)を設立 グランドピアノ専門工場として竜洋工場完成		
1981	オーストラリアにカワイオーストラリア PTY.Ltd. 設立		
1984	(株)カワイビジネスソフトウェア設立		
1988	アメリカにメディミュージックセンター Inc. を設立	1990	
1989	河合弘隆 社長に就任		
1991	マレーシアにカワイアジアマニュファクチャリング SDN.BHD を設立		
1996	新経営の理念、行動指針制定		
1997	カワイ精密金属(株)浜松事業所 ISO9002 認証取得		
1998	(株)カワイハイパーウッド設立		
1999	最高級グランドピアノ「Shigeru Kawai シリーズ」発売	2000	
2001	インドネシアに PT. カワイインドネシアを設立 最高級フルコンサートピアノ「SK-EX」完成		
2002	中国に河合貿易(上海)有限公司を設立 カワイ倫理規範、倫理行動規程制定		
2003	カワイ精密金属(株)浜松事業所 ISO9001 認証取得		
2004	カワイ精密金属(株) ISO9001 認証を全社に拡大 中国に河合楽器(寧波)有限公司を設立		
2005	竜洋工場 ISO9001 認証取得		
2006	アコースティックピアノの塗装を行うカワイインドネシア第2工場設置 旗艦店「カワイ表参道」リニューアルオープン		
2007	電子楽器組立を行うカワイインドネシア第3工場設置 中国上海市内にカワイ音楽教室第1号教室開設		
2008	河合楽器(寧波)有限公司 ISO9001 認証取得 PT. カワイインドネシア第3工場 ISO9001 認証取得		
2009	国内ピアノ生産工程を竜洋工場に統合 PT. カワイインドネシア第1・第2工場 ISO9001 認証取得 カワイ精密金属(株)浜松工場の建物増設	2010	
2011	インドネシアに PT. カワイミュージックインドネシアを設立		
2012	最高級グランドピアノ「Shigeru Kawai シリーズ」モデルチェンジ		
		1975	生産技術部内に公害課設置 カワイの環境元年
		1978	生産本部 環境管理課に改めグループ全体の管理をスタート
		1980	『森の中の緑の工房』竜洋工場完成
		1994	地球環境憲章制定 シンボルマーク決定 全社的な推進組織の地球環境委員会発足
		1996	環境推進室に名称変更
		1997	竜洋工場で ISO14001 認証取得 楽器業界で世界初 舞阪工場「静岡県労働基準局長 優良賞」受賞
		1998	舞阪工場で ISO14001 認証取得 竜洋工場「エネルギー管理優良工場」として中部通商産業局長表彰
		2001	タイプIII環境ラベル「製品環境宣言」JEMAI 開示 舞阪工場「危険物優良事業所」表彰
		2003	工場統合によるインフラの整備 木屑ボイラーの廃止
		2005	竜洋工場が緑化優良工場として(財)日本緑化センター会長奨励賞受賞
		2006	河合楽器が静岡県緑化推進協会から「緑の募金」の感謝状 木材調達ガイドラインの開示
		2007	(株)カワイハイパーウッドでエコアクション 21 認証取得 「カワイの森」インドネシア植林事業開始
		2008	産業廃棄物適正処理推進功労者に対する静岡県知事褒賞 受賞
		2010	メルヘン楽器(株)でエコアクション 21 認証取得
		2011	PT. カワイインドネシア第1・第2工場で ISO14001 認証取得 生産統括部 CS 環境室に名称変更
		2012	カワイ精密金属(株)でエコアクション 21 認証取得 河合楽器(寧波)有限公司で ISO14001 認証(申請中)



東日本大震災 被災地域への支援活動

カワイグループでは、東日本大震災発生直後から、義援金の寄託、避難所への音楽・体育教室講師による訪問活動など、様々な支援活動を行ってまいりました。

楽器メーカーとして、音楽や楽器を通じた被災地域への支援に重点的に取り組んでいます。



大船渡北小学校の生徒さんたちと記念撮影

東日本大震災復興チャリティーコンサート

2012年4月13日、浜松市内において秦万里子さんをむかえ、チャリティーコンサートを開催しました。コンサートの収益金と募金のすべては、浜松市が支援を行っている岩手県大船渡市の学校へピアノを贈るために使われました。

当日は、被災地から避難されている方々や浜松から被災地へボランティアに行かれた方々を招待させていただきました。また多くの方にお越しいただき、盛況のうちに有意義なコンサートとなりました。

7月23日、岩手県大船渡市立大船渡北小学校に、コンサートに関わったすべての皆様の思いとともに、グランドピアノ『RX-2』をお届けしました。



(株)カワイハイパーウッドふれあいコンサート

東日本大震災復興支援チャリティーコンサートと題し、チャリティーバザーと合わせて10月15日(土)に開催しました。多くの方からの義援金が集まり、バザー収益金と合わせ、被災地の岩手県大船渡市立第一中学校にピアノを贈りました。





復興活動に取り組みました

音楽・体育教室講師による避難所への訪問活動

音楽教室・体育教室では、避難所となっている幼稚園や小学校などを訪問し、片付け・清掃・整備などの復興支援や、避難所で生活されている方たちに、心と体をリラックスしていただくため、それぞれの講師が持っているスキルを活かしたコラボレーションによるリズムゲームやミニコンサートを実施しました。



宮城県石巻市渡波を訪問



宮城県牡鹿郡女川町を訪問



ビッグパレット福島(郡山市)を訪問

チャリティーコンサート at カワイ表参道

カワイと関わりが深い著名ピアニストの皆様から温かいご協力を賜り、カワイ表参道「パウゼ」において9回にわたりチャリティーコンサートを開催いたしました。



コンサート後の募金活動



ピアニストの皆様からの寄せ書き

「歌おう NIPPON」プロジェクト

カワイ出版では、被災者の方々にエールを届けるため『「歌おう NIPPON」プロジェクト』を立ち上げました。

日本中の合唱愛好家の皆様と作曲家の皆様のご協力を得て、歌声を被災地に届けよう、というプロジェクトです。被災者のために書かれた新しい作品を無料で配信し、日本中で歌っていただく。そしてできるだけたくさんの歌声をネットを通じて被災された方々におくるというものです。

このプロジェクトにご賛同頂いた作曲家の方々に無償で作品を書き下ろしていただきました。

<http://www.editionkawai.jp/utaou/>



復興活動へ統一スローガンとロゴを制定

東日本大震災への復興活動にあたり、カワイグループ全社統一のスローガンとロゴを制定し、様々な復興活動に統一性を持って取り組みました。



がんばろう日本！つながろう音楽で！
～カワイは「日本の元気」を応援します～



カワイ地球環境憲章に定める基本理念と行動指針に基づいて環境保全活動を展開しています

地球環境憲章 / 環境方針 / 環境推進組織

地球環境憲章

カワイグループはすばらしい地球環境を後世に伝えるためには、総合的かつ継続的な取り組みが必要であると認識しています。

世界の良き企業市民として環境の保全に努めつつ、人と地球にやさしい優れた商品を通じて社会からの信頼と共感を得ることができる道を進むために「地球環境憲章」を1994年に制定しました。

地球環境憲章

地球と人にやさしい企業をめざして

《基本理念》

「感動製造業」をモットーとする私たちは、地球市民の一員として環境と資源を守ると共に、真に豊かな心と社会の実現に尽くします。

また、グローバルな視野に立って地球環境にやさしい企業を目指します。

豊かな人間性や快適な生活環境の創造を
優れた研究、優れた技術、優れた商品の創造を
環境に優しい生産・流通・販売活動の創造を

《行動指針》

- 音楽文化産業として、各々の事業分野で人と音との良好な関係を築いていきます。
- 様々な場面で、環境への影響を科学的な方法により評価し、必要な対応策を実施することにより、環境の保全と人の健康を守ります。
- 資源の有効活用と省エネルギーの推進を図ります。
- 製品の研究開発・設計段階からサイクルと廃棄物発生量の減少を目指します。
- 環境の保全活動に関し、国内外の要請に応え、地域との共生を目指して積極的に参画し、保護対策を実施します。

地球環境方針

カワイ地球環境委員会では「地球環境憲章」を受け「環境方針」を制定しています。《有益な環境側面の発掘》《地球温暖化防止》《資源循環活用》《資源有効活用》《グリーン調達》等の推進に全社一丸となって邁進しています。

カワイ環境方針

カワイ地球環境委員会

私たちは、楽器製造をはじめとする様々な事業の中で、環境への影響を配慮した活動を行い、地球環境の保全に向けた継続的な改善と汚染の予防に努めます。

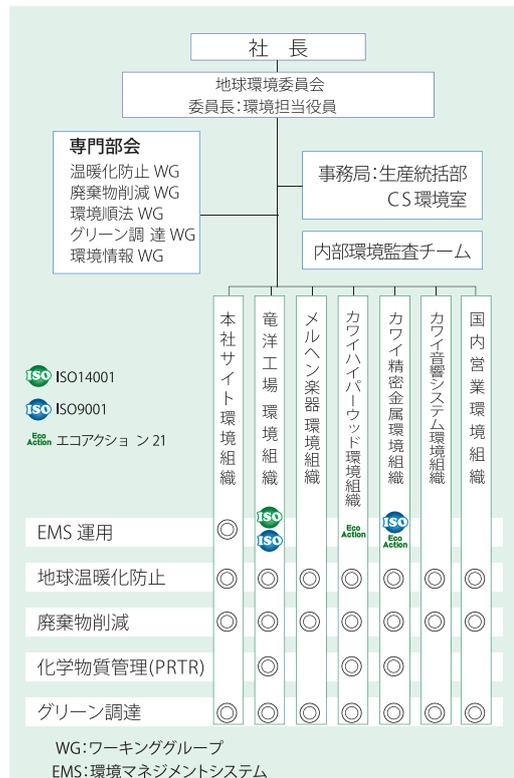
- 環境マネジメントシステムにより、環境負荷の軽減や有益な環境側面を開発し推進することを目標に設定するとともに、社会の期待や大きさに応じた定期的な見直しを実施します。
- 社会の期待と環境負荷に配慮した「製品、サービスの提供」「技術の開発」に努めます。
- 調達、生産、流通、販売、サービスなどの各部門において「地球温暖化防止」「資源循環活用」「資源有効活用」に努めます。
- 必要な資源の調達、購入に関しては、より環境負荷の少ない材料・部品・製品を優先的に調達・購入します。(グリーン調達)
- 環境に関する法規制を遵守するとともに、その他の要求事項を考慮して自主的な取組を設け、環境管理レベルの向上に努めます。
- 環境教育を通じて、全社員の意識向上を図るとともに、一人ひとりが広く社会に目を向け、日常生活の中で自主的な環境活動ができるよう啓蒙と支援を行います。
- この環境方針を浸透させるため、環境管理担当役員を総経理責任者とした環境管理の組織、運営体制を整備し、目標、計画、施策、責任を明確にして環境保全活動を展開します。

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.kawai.co.jp/company/activity/ambience.asp>

環境推進組織

環境経営を推進する組織として、1994年に環境担当役員を委員長とする地球環境委員会を設置し、環境保全に関する全社環境方針や目的・目標を設定し活動しています。毎年環境月間の6月には各サイトの昨年度実績及び当年度の目標を報告する全体会議を開催しております。



環境マネジメントシステム (EMS)

事業者が自主的に環境保全に関する取り組みを進めるに当たり、環境に関する方針や目標等を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくシステム。国際規格のISO14001、環境省が策定したエコアクション21などがあります。

環境監査

カワイでは、環境マネジメントシステムで要求されている継続的改善のPDCAサイクル(計画・実行・検証・対応の繰り返し)をまわすため、定期的に「外部審査」「内部環境監査」を実施しています。

外部審査

認証取得サイトでは、認証機関による毎年のサーベランス審査および定期毎の更新審査において、環境マネジメントシステムが有効に機能していることの審査を受けています。



CO₂ 排出量・廃棄物排出量の削減に取り組んでいます

2011 年度の環境目標と実績

2010 年度から 2012 年度の 3 ヶ年計画・目標

地球温暖化防止を重点課題と考え、CO₂ 排出量の削減に全社で取り組んでいます。

2007 年度から 2009 年度までの前の 3 ヶ年計画では総量で 2006 年度比 -15% の削減目標に対し -19% と目標を達成できました。その実績を踏まえて、2010 年度から 2012 年度の 3 ヶ年計画を地球環境委員会で検討した結果、改正省エネ法の努力義務目標を考慮して 2010 年度からの 3 ヶ年で 2009 年度基準で毎年、原単位で 1% 削減することを環境目標と設定しました。

環境目標 (2010 年度～2012 年度)		
基準年		2009 年度
地球温暖化の防止	CO ₂ 排出量	毎年 1%削減 (原単位)
資源の循環活用	廃棄物量	毎年 1%削減 (原単位)

2011 年度の実績

各事業所の環境組織では活動の主な目的・目標として「生産効率の向上」「不良率の削減」を掲げて環境マネジメントシステムの推進に取り組んでまいりました。

2011 年度の実績は CO₂ 排出量は原単位で 2009 年度比 -9.6% と目標値 (-2%) を達成できましたが、廃棄物に関しては原単位で +7.3% と増加し、目標値 (-2%) を達成できませんでした。

	指 標	2009 年度	2010 年度	2011 年度		評価
		実 績	実 績	実 績	増 減	
地球温暖化防止	CO ₂ 排出量原単位 (kg-CO ₂ /百万円)	312	305	282	-9.6%	◎
	エネルギー量原単位 (MJ/百万円)	6,482	6,328	5,911	-8.8%	◎
資源循環活用	廃棄物排出量 (総量) (kg)	1,005,048	1,148,263	1,111,683	+10.6%	
	廃棄物排出量原単位 (kg/百万円)	17.9	19.6	19.2	+7.3%	×

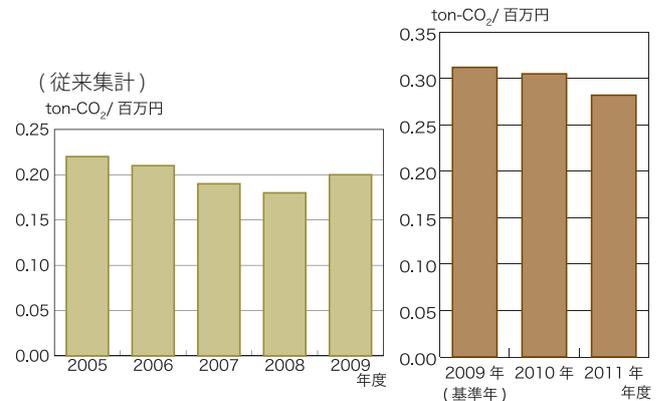
評価 ◎:達成 ×:未達成

環境経営指標

CO₂ 排出量原単位につきましては、2009 年度までカワイグループ内の国内生産拠点および主要支社の CO₂ 排出量の集計を全売上高で除した指標を用いてきましたが、改正省エネ法に対応するために 2010 年度より全ての支社・営業所・音楽教室などを含めたカワイグループ全体のエネルギー使用量を把握するようにしております。

CO₂ 排出量原単位

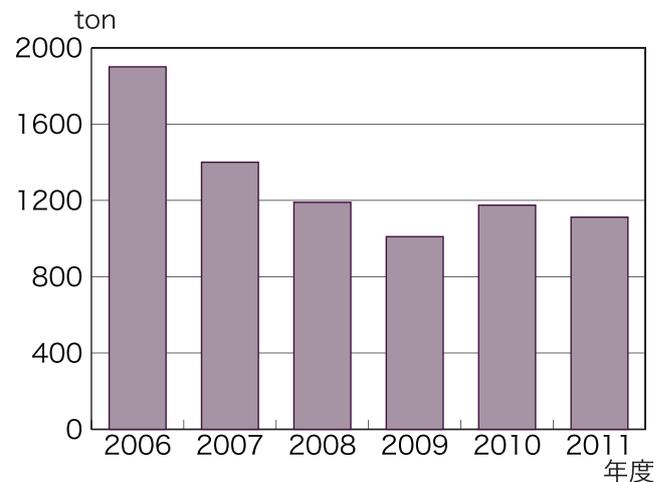
(省エネ法準拠の集計)



また、産業廃棄物の排出量に関して、2009 年度に対しては 10.6% 増加しました。

これは、生産合理化に伴う部品外注製造工程の構内への移設等の影響によるものであり、今後の取組みの重点課題として検討を進めてまいります。

産業廃棄物排出量





CO₂ 排出量の削減と CO₂ 吸収の取り組み

地球温暖化の防止

地球温暖化防止の取り組み（CO₂ 排出量削減）

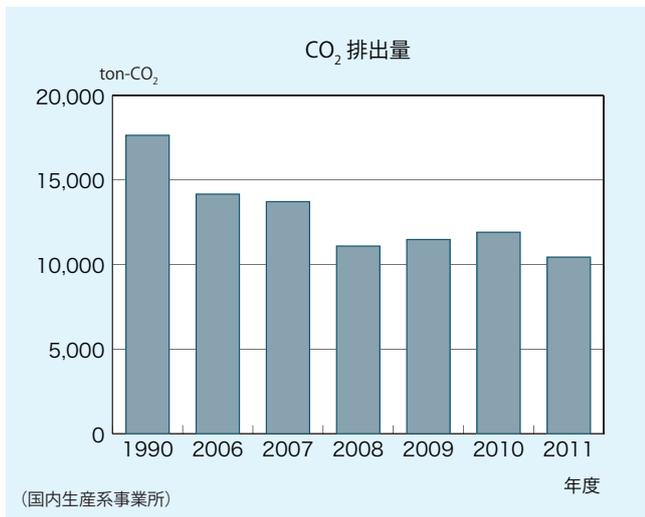
カワイグループでは地球温暖化防止を環境経営の重点項目と位置づけ、工場やオフィスのエネルギー使用によるCO₂の排出や物流によるCO₂の排出の削減を目的・目標に掲げ活動しています。

工場の統廃合により、生産系事業所のCO₂排出量は京都議定書の基準年である1990年度に比べて41%削減されており、京都議定書の日本の目標値6%削減に対してカワイグループは大幅な削減を達成しています。

なお、1990年当時の支社・営業所・音楽教室を含むCO₂排出量の推定を行っており、この場合、1990年比約23%の削減と推定しております。

また、カワイグループの工場では、ピアノ製造の竜洋工場と金属加工のカワイ精密金属（株）松本工場の2工場が第二種エネルギー管理指定工場に指定され、自主的にCO₂削減計画を策定し、CO₂削減に取り組んでいます。

オフィスにおいては例年どおり夏期には「ノーネクタイ」「ノー上着」活動とともに、冷房設定温度を上げる「クールビズ」運動を、冬期には暖房設定温度を20℃以下に保つ「ウォームビズ」運動を展開しています。



CO₂ の吸収活動（植林活動）の推進

「森の中の緑の工房」竜洋工場

カワイは、1980年に「森の中の緑の工房」を目指し竜洋工場を建設しました。工場周辺や構内へ当初約20,000本の苗木を植え、その後も継続して植林を行い、現在までに約26,000本の規模となっています。30年の歳月を経て工場周辺の木々は、大きな樹木に生長し、「森の中の緑の工房」の名に相応しい工場となりました。この活動が評価され、2005年緑化優良工場として（財）日本緑化センター会長奨励賞を受賞致しました。



海外植林活動

2007年より、海外生産拠点のあるインドネシアにおいて、CO₂吸収源の確保、木材が伐採された土地に森林を再生すること、また将来の木材資源の育成を目指してカワイグループ社員の寄付による「カワイの森」植林活動を行っております。5年間（5次植林）で250ha、20万本を植樹する計画です。

2011年度は第4次植林として、100haに97,000本のチークの苗木を植えました。これまでの植林活動により合計で225haの土地（東京ドーム約48個分）に18万本の苗木が成長を続けています。

インドネシアの「カワイの森」が完成すると、試算では年間3,667トンのCO₂を吸収できると見込んでいます。



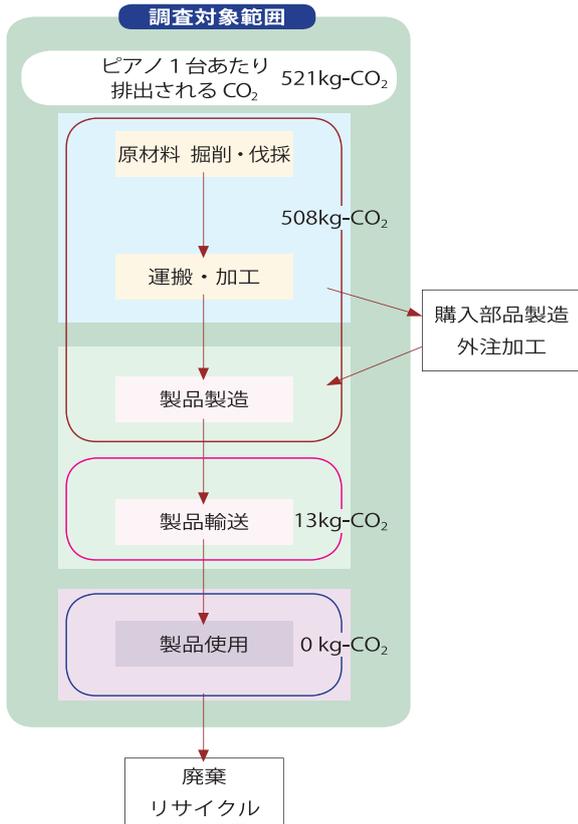
「カワイの森」植林活動



主な製品の環境負荷の評価と夏の節電活動

製品の環境負荷 (LCA)

製品をつくるための資源の採取から部品、製品を作る過程で排出されるCO₂量及び製品を使用し、廃棄されるまでにCO₂をどのくらい排出するのかの調査をカワイの主な製品のグランドピアノ (RX-3) について行なった結果、次のとおりとなりました。



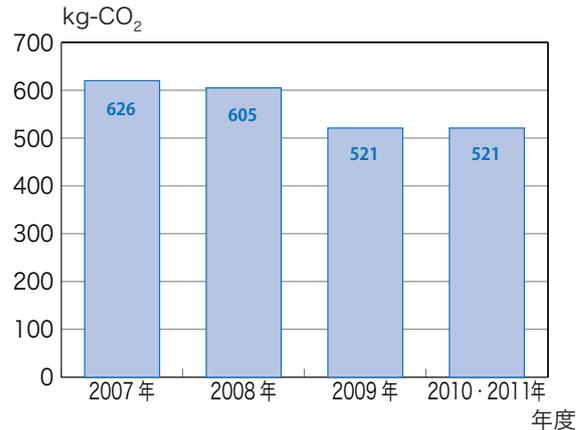
LCA : Life Cycle Assessment の略。製品の原材料の調達から製造、輸送、使用、廃棄までのライフサイクル全体を通して、環境に及ぼす各種の環境負荷を定量的に評価する手法

LCA 評価方法

- * LCA 算定には、社団法人 産業環境管理協会のライフサイクルアセスメント実施ソフト「JEMAI-LCA Pro」を用いました。
- * 製品の廃棄について
ピアノの寿命は数十年のため算出から除外しました。
- * 購入部品及び外注先での加工製造・輸送については含まれていません。
- * 製品輸送は磐田市 (竜洋工場) → 東京間を用いています。

ピアノは、一般の電化製品、自動車と異なり製品の使用時に排出されるCO₂はありません。また、製品寿命は一般的に数十年と長く、製造までのCO₂排出量が製品寿命の総CO₂排出量と考えることができます。

グランドピアノ RX-3の LCA 結果 (CO₂ 排出量)

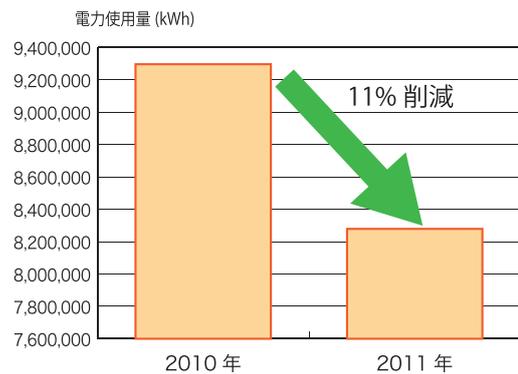


夏の節電活動

カワイグループでは、夏の期間中に節電活動を実施しております。2011年度は、節電目標を前年比15%削減とし、カワイグループ全体の電力使用量の実績で11%の削減を達成しました。

2012年度は、さらに前年比5%削減を目指し、節電活動に取り組んでいます。

電力使用量



節電の啓蒙ポスター
2011年版 (左) と
2012年版 (右)





資源循環型社会のための活動を行っています

廃棄物削減・再資源化

廃棄物削減の取り組み

廃棄物の削減と徹底した分別回収による再資源化を図ることが重要な使命と認識し、活動しています。

2003年度には、大気汚染の防止やダイオキシン対策特別措置法の順守を目的に木屑ボイラーを廃止したため、それまで燃料としてサーマルリサイクルされていた木屑や木粉が廃棄物扱いとなったことにより、廃棄物排出量が大幅に増加しました。

2011年度は、2010年度と比較して、廃棄物排出量が減少しましたが、再資源化率は89%にとどまりました。

なお、木屑等は全て再資源化(製紙原料、ボード原料、堆肥用、燃料用他)しており、その他のフェルトなどは堆肥化するなど環境負荷の低減に役立つよう再資源化の取り組みを行なっています。

リサイクル・リユースの取り組み

生産者拡大責任を踏まえて、循環型社会のためのピアノの再生利用を推進するために(株)ピアノリサイクルを1998年に設立しました。現在では竜洋工場仕上課が本事業を担当しています。

メーカーによるピアノ再生

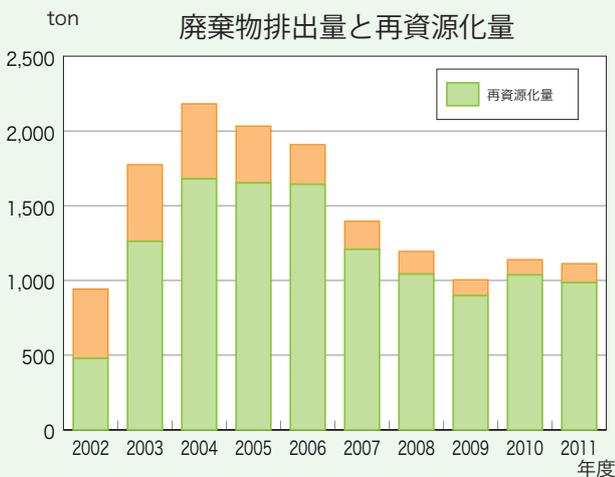
メーカーだから出来る仕事があります。ピアノづくりに精通した経験豊かな専任技術者が、古いピアノでも全面オーバーホールすることが可能です。

弦・ハンマー・アクションの交換から全面塗装までお客様のニーズに応じたピアノ再生を行っています。再生は、ピアノづくり80年を超える製造部門で長年の経験をもち、塗装技術、木工技術、調律技術など、その道の専門家がそれぞれ担当しています。その仕上がりは、多くのお客様から喜ばれています。また、カワイピアノなら純正パーツによる修理・再生も可能で、これも大きな魅力となっています。



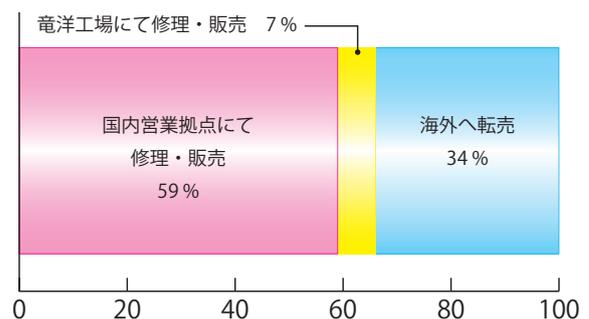
日本国内では各営業拠点においても、下取りしたピアノを再生し、新たなお客様のもとへお届けしています。

2011年度には約1,100台のピアノが再生・リユースされました。そのうち約3割が輸出され世界の各地で使われています。



	年度	2007	2008	2009	2010	2011
排出量	ton	1,396	1,194	1,004	1,139	1,112
再資源化量	ton	1,208	1,043	898	1,037	986
再資源化率	%	87%	87%	89%	91%	89%

ピアノにおけるリサイクル・リユースの取組み状況 (2011年度)





持続可能な原材料・資源の調達を推進しています

グリーン調達

カワイグループでは必要な資源の調達・購入に際して、カワイ地球環境委員会の定める「環境方針」に基づき、より環境負荷の少ない材料・部品・製品を優先的に調達・購入する『グリーン調達』にグループ全体で積極的に取り組んでいます。



グリーン購入法やグリーン購入ネットワーク（GPN）の基本原則に準じたグリーン調達を推進し、環境負荷を総合的に低減し、生物多様性の保全や循環型社会構築に積極的かつ継続的に貢献するよう活動しています。

次のようなライフサイクルにおける環境への配慮に関する事項を調達基準として考慮しています。

- ・ 環境汚染物質への配慮 / 省資源 / 省エネルギー
- ・ 天然資源への配慮 / 長期使用性 / リユース可能性
- ・ リサイクル可能性 / 再生材料等の利用
- ・ 処理処分の容易性

またサプライヤー選定時の配慮事項も次のように定め、購買部門よりお取引先に対処をお願ひしています。

- ・ 環境マネジメントシステムを構築し運用していること
- ・ 省資源、省エネ、化学物質管理、グリーン購入等への取組がなされていること
- ・ 梱包材についても環境に配慮していること
- ・ 環境情報を積極的に公開していること

グリーン調達に関しては、このほかに調達基本方針や適用範囲、調達基準ガイドライン等を定めています。

またこのガイドラインに基づいて文具類等の調達ガイドラインも別に策定しています。

木材調達

ピアノの心臓部ともいわれる響板には厳選されたアラスカのスプルースが使われます。樹齢 150 ～ 400 年、高さが 60m にも達する針葉樹の大木です。ピアノの響板には地上 6 ～ 20m の部分で木目がまっすぐかつ「ふし」のない部分しか使えません。

高品質、貴重な木材を多く使用する楽器メーカーとして、木材を生み出す森林の保全、保護、育成は特に重要と考え生物多様性の保全に配慮して木材のグリーン調達に取り組んでいます。

木材調達ガイドライン（2006年6月開示）

2006年に持続可能な資源である木材の調達におけるカワイのポリシーを明文化しました。

基本理念

カワイは、木を大切に、保護・育成された森からの持続可能な資源である木材を、有効活用する、木材のグリーン調達を推進する。

基本方針

1. カワイは、持続可能な森林経営が営まれている森林から産出された木材を優先して調達する。
2. カワイは、木材調達において、森林を保全・保護・再生するという環境対策の推進や順法に配慮する。
3. カワイは、調達した木材の適切かつ効率的な利用を推進する。
4. カワイは、再生材で生産された製品を優先して調達する。
5. カワイは、森林認証林産物を優先して調達する。



響板の材料となるアラスカスプルース（樹齢 250 ～ 260 年）





“ANYTIME” いつでもピアノを楽しむために

Hybrid ANYTIME X

生活スタイルが多様化し、早朝や夜間の時間帯を有益に過ごす方が増えてきました。一方、自分の演奏を録音して聴いてみたい... デジタルピアノのようにいろんな音色で演奏してみたい... というように、音楽や楽器の楽しみ方も多様化しています。

ANYTIME シリーズは、夜間など音を出せないときに、デジタル音源に切り替えて、ヘッドホンで演奏を楽しむことができる環境配慮型アコースティックピアノです。

グランドピアノ“ANYTIME X”では、ハンマーの動きを検出する新センサー「インテグレートッドハンマーセンシングシステム」をグランドピアノ用に新開発し、消音時においても、通常時と変わらない鍵盤のタッチ感を実現しました。

— グランドピアノ“ANYTIME X”の特徴 —

- 1) グランドピアノ用に新開発した「IHSS インテグレートッドハンマーセンシングシステム」採用
- 2) グランドピアノにふさわしい、高品位デジタル音源
- 3) ヘッドホンなしで、電子音の再生・音量調節が可能な「響板スピーカーシステム」搭載 (ATX-f)
- 4) 操作性・視認性に優れた「スライド式スイッチパネル」採用
- 5) 音色数 22、最大同時発音数 192 音、レコーダー機能強化などデジタル音源の特性を生かした機能も充実

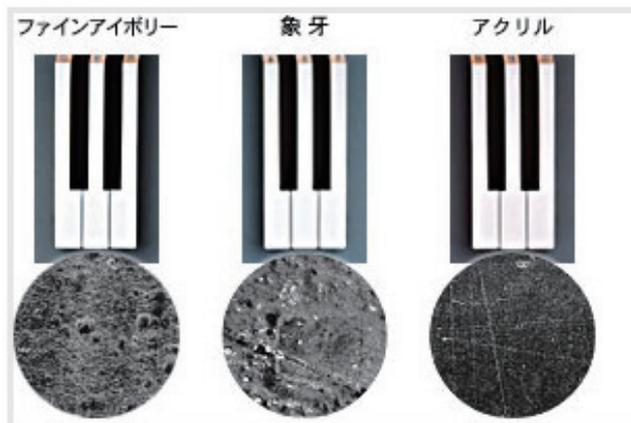


ファインアイボリー白鍵&ファインエボニー黒鍵

鍵盤の素材は、白鍵は象牙、黒鍵は黒檀が最良とされ、古くから使用されてきました。しかし 1980 年代に入ると環境保護意識が世界的に高まり、新たな素材が求められるようになりました。カワイは他に先駆けて研究に取り組み、まったく新しい鍵盤素材を開発し、1988 年、独自の鍵盤素材を世界に向けて発表しました。それが、数々の優れた特長を持つファインアイボリー白鍵(人工象牙)とファインエボニー黒鍵(人工黒檀)です。その評価は時とともに高まり、現在では、まさに新時代の鍵盤素材として高く評価されています。

〔6つの特徴〕

1. 感触があたたかく、弾き心地が良い。
2. 吸水性に優れ、汗によるミスタッチを防ぐ。
3. 吸音性があり、打鍵の際、爪などによるノイズが少ない。
4. 硬度が爪と同程度なので、鍵盤も爪も傷めない。
5. 帯電性が少なくホコリが付きにくい。
6. 雑菌の繁殖を抑える「抗菌効果」。



ファインアイボリー (特許 No.1907467)

ファインエボニー (特許 No.2908569)

顕微鏡(1,000倍)で見ると、表面の状態が象牙に近いことが分かります。また、摩擦係数についても、本象牙に近い特質を持っています。



カワイの防音ルーム「ナサール」の技術が 産業用途にも役に立っています



サイエンスナサール

カワイの防音ルームは、産業用途向けに「サイエンスナサール」をラインナップしています。

パネル組立方式の採用により短い工期（最短1日）で組立完成。さらに移設も短工期で対応可能です。

研究、測定、産業用用途に応える信頼の性能と充実したオプションをお届けします。



カワイ防音ルーム「ナサール」

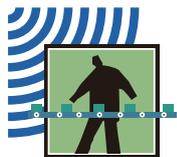
カワイ防音ルーム「ナサール」は、音響性能と居住性の両立を図った、より良い音環境を楽しむ空間として、音楽用防音室にとどまらず書斎やAVルームとしても、ご利用いただいています。

カワイの防音ルームは様々な現場において活躍しています

近年、産業界においても静かな作業環境の確保が行政から指針として示されています。カワイでは永年にわたり、ピアノレッスン室をはじめとする音楽用防音室やカラオケルーム、そして産業用防音室を多くのユーザーに提供して

まいりました。こうした豊富な経験とノウハウを活かして、様々な工場・研究機関における快適な音環境づくりのお手伝いをしてまいります。

製造ライン作業室



騒音の激しい工場内での生産効率と品質のアップに



研究・測定・検査室



静かな音環境を要求される研究室や測定室などに



オペレーターールーム



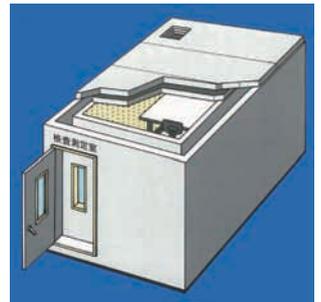
作業環境を改善
騒音ストレスのない快適作業室



検査・測定室・音源カパー



外部への影響を考慮して、大きな音の出る検査・測定室に



株式会社 カワイ音響システム

〒435-0042 静岡県浜松市東区篠ヶ瀬町 358
tel:053(489)7601 fax:053(489)7608
[URL] <http://www.kawai-os.co.jp/nasal/>



環境にも配慮した省電力型デジタルピアノ

省電力

デジタルピアノ CA・CN シリーズは、デジタルアンプの採用などシステム全体を見直すことにより、大幅な省電力化を実現しました（カワイ従来モデル比）。さらに、一定時間何も操作されない場合に、デジタルピアノ本体の電源を自動的にオフする「オートパワーオフ機能」を搭載し、省エネを実現した環境に優しいデジタルピアノです。

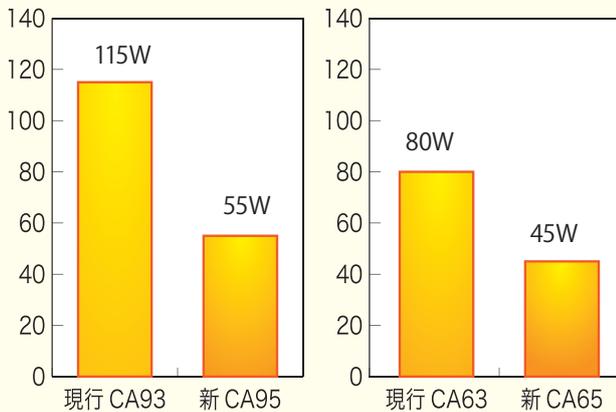
目指したのはグランドピアノの性能

Concert Artist シリーズ『CA95』『CA65』

"Concert Artist" シリーズは、その名のとおりアーティストが使用するコンサートグランドピアノを目標として開発したカワイデジタルピアノのトップブランドです。



< 消費電力 >



約 50% 低減

CA95/65 は、グランドピアノスペックを実現するという商品コンセプトのもと、最新型の木製鍵盤「グランドフィールアクション」をはじめ、グランドピアノに迫る表現力を実現した新音源、グランドピアノの踏み心地を再現したグランドフィールペダルシステム、演奏を WAV や MP3 形式で録音 / 再生できる USB オーディオレコーダーなど最新技術を搭載、デジタルピアノ最高性能を実現したモデルです。

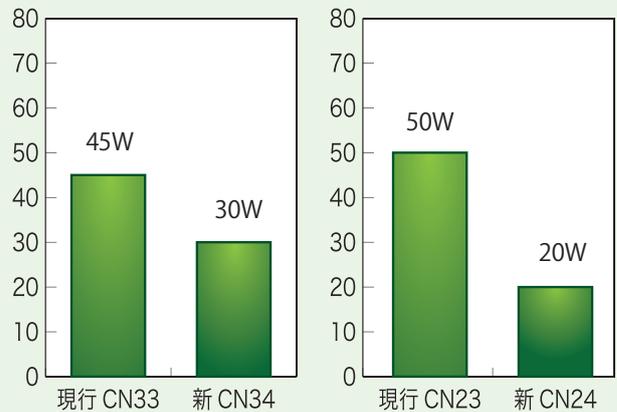
表現力を大幅に向上したデジタルピアノ

『CN34』『CN24』

入門社向けのデジタルピアノ「CN シリーズ」は、ピアノとしての充実した基本性能を兼ね備えながらも、お求めやすい価格を実現しました。



< 消費電力 >



CN34 約 35% 低減

CN24 約 60% 低減

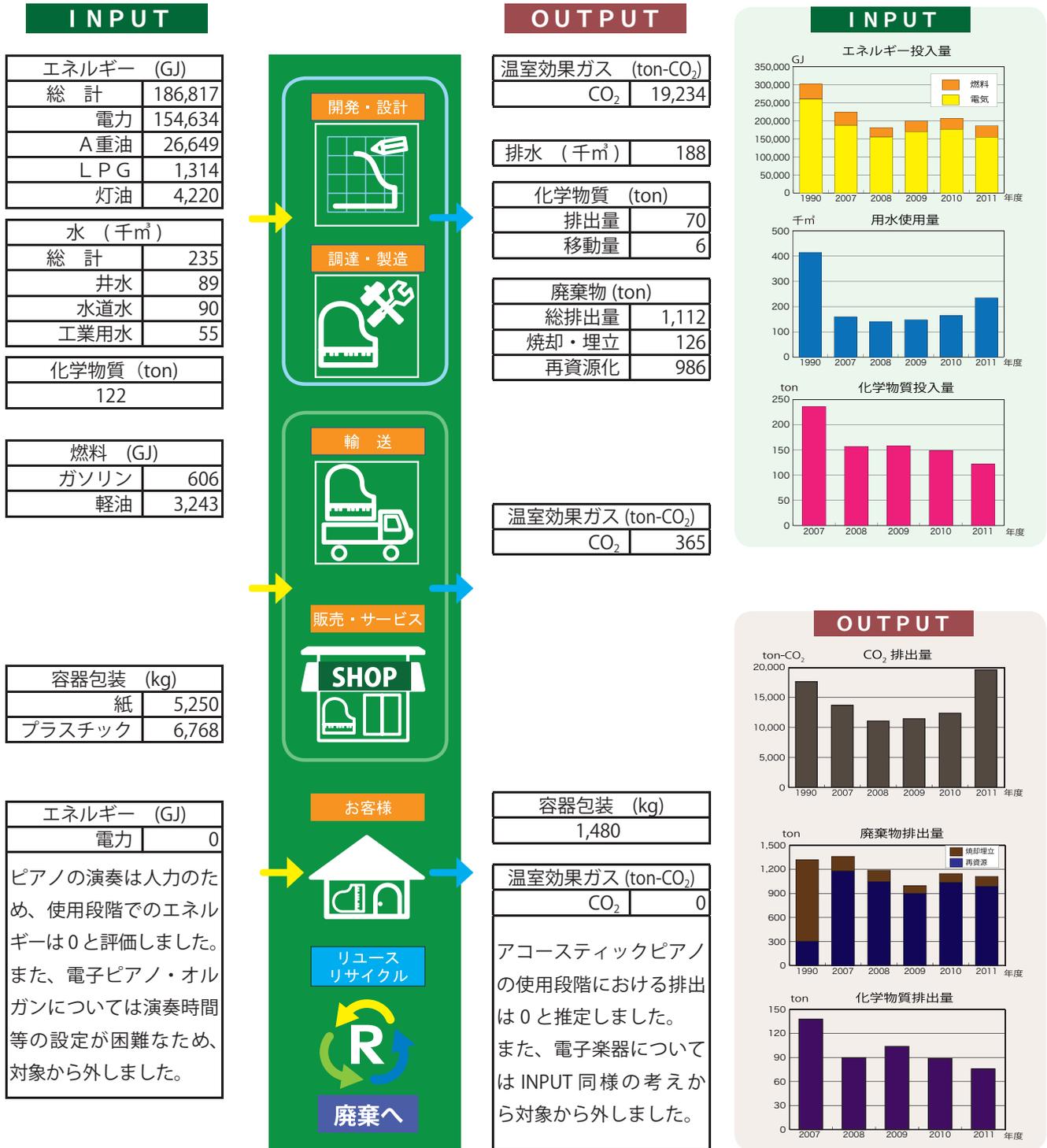
CN34/24 は、現行モデルで高い評価を受けている樹脂製鍵盤 RH アクションの、連打、トリル、レガートといった奏法時の発音性能をさらに向上させた最新型 RH II アクションを搭載。また、上位モデル CA95/65 と同様の新音源、グランドフィールペダルシステムを搭載し、ピアノの表現力や演奏性が大幅に向上しています。CN34 には上位モデル同様、USB オーディオレコーダーを搭載、ピアノライフの楽しみが広がる特徴を備えています。



企業活動による環境負荷を数値で把握することが環境活動の第一歩と考えています

マテリアルバランス

カワイグループでは、事業活動に伴って発生する環境負荷を把握し、その及ぼす影響を軽減するために開発・設計・調達・製造から輸送、さらにお客様が製品を使用・リサイクル・廃棄に至るまでの各段階でどれだけの資源・エネルギーを使用しているか、またどのような環境負荷が発生しているかについてデータ集計を行なっております。2011年度におけるエネルギー、化学物質、資源などの投入量とCO₂、排水、化学物質、廃棄物などの排出量は、下記のとおりです。今後もデータ把握の対象を広げ環境負荷の低減に取り組みます。





第3次中期経営計画（2010年度～2012年度）の概要

第3次中期経営計画

第3次中期経営計画では、長期的に会社のめざす方向性を明確にし、将来を見据えた事業基盤づくりを行うとともに持続的成長のための構造改革に取り組んでまいります。

1. 計画期間

2010年4月1日～2013年3月31日

2. 長期ビジョン

- ・限りある資源を有効活用し、地球にやさしいものづくりをめざす
- ・幼児から高齢者まで、心の豊かさや体の健康づくりを支援
- ・グローバルブランドの確立をめざす

3. 基本方針

- (1) 成長市場へ向けたチャレンジ
 - ・成長する中国市場に対し、当社総合力を発揮
 - ・高齢化社会に向けた健康増進事業の拡大
 - ・自動車CVT向け金属加工など環境対策関連部品加工の拡大
- (2) 基盤事業の構造改革による収益性向上
 - ・楽器国内販売の構造改革
 - ・楽器生産体制の全体最適化
 - ・教育ソフトの充実と、教育・サービス事業の効率化

4. 7つの重点戦略

当計画を遂行するため、下記7項目について重点的に取り組んでまいります。

- (1) グローバルブランドの確立

高付加価値モデルを世界市場で拡販し、ブランド力向上のための基盤を整備。

 - ① Shigeru Kawai シリーズの拡販
 - ② ピアノづくりの将来を見据えた生産・開発体制を整備
- (2) 中国市場で総合力を発揮

成長が続く中国市場で、需要創造から生産、販売、サービス体制の強化を図る。

 - ① 強いブランド力を背景に、学校販売を強化
 - ② 普及価格帯モデルを増やし、幅広い層へ拡販
 - ③ 都市部を中心に音楽教室展開を加速
 - ④ アフターサービス体制の充実を図る
- (3) 国内市場の効率的販売体制構築

都市部へ資源を集中し、市場縮小に対応した販売体制を構築。

 - ① 店舗を核とした販売活動を展開
 - ② 音楽教室との相乗効果を生かした販売の効率化
 - ③ IT (CRM・インターネット等) の効果的活用を図る

(4) ピアノ世界販売の拡大

市場別販売・製品戦略を策定し、ピアノ販売の拡大をめざす。

- ① 成熟市場での販売量回復
- ② 成長市場での量的拡大
- ③ 新興市場の開拓強化

(5) さらに魅力ある音楽教室をめざす

都市部人口集中エリアへ音楽教室を新設し、生徒数を増加。

- ① 都市部を中心とした教室新設
- ② 魅力ある音楽教育システムの構築

(6) 全年齢の健康づくり支援事業拡大

全年齢層に向けた健康増進事業を、全国市町村を対象に推進。

- ① 介護予防事業の拡大
- ② 特定保健指導事業の推進
- ③ カワイ体育教室のコース新設・拡充

(7) 金属事業の生産体制強化

市場拡大が見込める環境関連部品金属加工の生産体制をさらに強化。

- ① 浜松新工場の投資効果を発揮
- ② QCDの向上により、技術競争力を確保
- ③ 半導体・自動車に次ぐ第3の柱を構築

5. 業績目標

(単位：百万円)

	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期
売上高	59,000	62,000	64,000
営業利益	1,700	2,300	2,500
経常利益	1,500	2,100	2,400
当期純利益	800	1,000	1,200

第3次中期経営計画の説明資料は下記の画像をクリックすることでご覧いただけます。





継続的に企業価値を高めていくにはコーポレート・ガバナンスの充実が最も重要な経営課題と捉えています

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスの状況

当社は、継続的に企業価値を高めていくうえで、コーポレート・ガバナンスの充実を最も重要な経営課題としてとらえており、そのためには株主・投資家の皆様、お客様、取引先、地域社会、従業員等の当社を取り巻く様々なステークホルダーから信頼される経営姿勢が重要であると考えております。その実現に向け、当社では株主総会、取締役会、監査役会、会計監査人などの法律上の機能に加え、経営体制の改革、内部統制システムやコンプライアンス体制の整備等の様々な方策を実現させるとともに、タイムリーな情報開示により公正で透明性の高い経営体制の実現を目指しております。

コンプライアンスの推進

コンプライアンスとは法令等遵守と訳され、社会の法令や会社内の規程などを守っていくことだけでなく、社会規範を含んだ倫理規範の実践により社会の信頼を得ていく事が必要であると考えられています。

このような事からカワイグループでは全従業員が取り組む、コンプライアンス経営を推進しております。

具体的には法令遵守に加え社会的な規範を包含したカワイ倫理規範、倫理行動規準を制定するとともに、外部有識者（弁護士）を加えた企業倫理委員会を設置しております。

また、企業倫理に関する統括部門である企業倫理室を主体に、企業倫理ホットラインの運営と従業員への教育、啓蒙によるコンプライアンス意識の向上に努めております。

内部統制システム整備の状況

当社は内部統制の基本を職務分掌、職務権限、業務プロセスその他の各種規程・基準に置いております。内部監査部門は業務執行部門並びに関係会社の監査を通じてこれらの基本に則って業務が遂行されていることを確認し、改善すべき点の指摘を行っております。また、法律問題については、分野ごとに恒常的に複数の法律事務所と顧問契約を締結した上で適法性の確保に努めております。

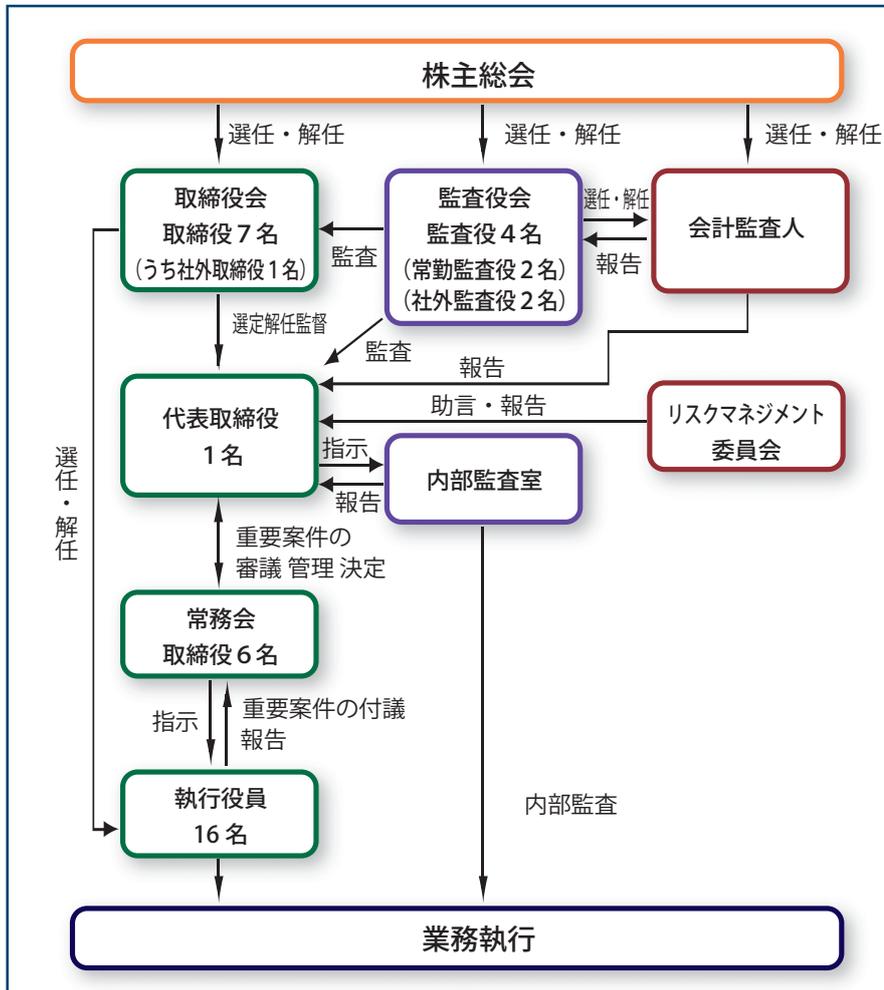
当社では「内部統制システムの構築に関する基本方針」を2006年5月12日開催の取締役会で決議しており、この決議に基づき内部統制システムの整備を推進しております。

反社会的勢力排除に向けて

反社会的勢力を社会から排除していくことは、治安対策上重要なことであり、企業にとっても社会的責任の観点から必要であり、また、反社会的勢力が従業員を含めた企業自身に多大な被害を生じさせるものであることから、企業防衛の観点からも必要なものであります。このような観点から、当社は反社会的勢力による被害を防止するため、コンプライアンス体制及び内部統制システムの一環としての体制整備に努めております。



コンプライアンス体制・内部統制システム



- ・取締役会：7名で構成（社外取締役は1名）
- ・監査役会：社外監査役2名を含む4名で構成
- ・2002年4月より執行役員制度を採用（現在16名）
- ・2005年6月より執行役員制度を改編し、取締役にも執行役員を兼務させる体制とし、直近の定時株主総会において新たに社外取締役を1名選任いたしました。社外取締役には、客観的な立場から取締役会における意思決定の妥当性及び取締役会の職務執行について大局的な視点で助言、監督をいただき、経営の透明性を高めております。全社的課題への対応力の強化を図るとともに、業務執行における責任の明確化および指揮命令系統の充実を図りました。
- ・経営会議体として全社的課題を審議するステアリング・コミッティ、戦略課題を全社的見地で審議する全社戦略会議等を設置して戦略モニタリング・コントロール機能を確保しています。
- ・内部監査：「内部監査室」を設置し、カワイグループの業務活動全般に関して、業務執行が適法、適正かつ合理的に行われているかどうかを監査するとともに、会社資源の活用状況、法令・社内規程の順守状況についての監査を行っています。



リスク管理体制

当社のリスク管理体制は、業務執行に伴うリスクを未然に防止することを第一とし、リスクが顕在化した場合には、社会的、経営的な影響を最小限にとどめるため、職制により組織的に対応するものから必要に応じてグループ全体を対象とした委員会等を設置するなど、機動的な対応に努めております。

リスクマネジメント委員会は、カワイグループ全体のリスクへの対応のために、規程類の整備、運用状況の確認、要員の訓練、研修等を企画実行するとともに全社リスク管理状況を定期的に代表取締役様に報告しております。傘下に下記分野別の各委員会を設置するとともに、不測の事態が発生した場合には、「緊急対策本部」をただちに設置し、迅速な対応と損害の拡大の防止にあたるものとしております。

なお、平成23年3月11日に発生した東日本大震災に際しては、当社取締役を委員長とした「緊急災害対策本部」をただちに設置し、被害状況及び震災の影響の把握に努めました。現在は「災害復興特別委員会」として被害の最小化及び復興施策の立案・実行を行っており、今後も必要に応じて追加の施策を行ってまいります。

リスクマネジメント委員会

地球環境委員会

カワイグループは1994年に地球環境委員会を設置し、地球環境の保全に積極的に取り組んでいます。地球環境委員会ではカワイ地球環境憲章、カワイ環境方針、グリーン調達ガイドライン、木材調達ガイドライン等を制定。また環境に関する法令の順守はもとより環境保全の目的・目標を定め環境汚染によるリスクの軽減に努めています。

海外安全対策委員会

海外子会社、海外駐在員並びに海外出張者のリスク管理を行っています。

中央防災対策委員会

カワイグループにおける火災、風水害、その他の災害の予防対策確立及び災害発生時の被害を最小限に止めるための諸活動を行っています。

中央安全衛生委員会

カワイグループの従業員の安全衛生意識の高揚を図り、災害及び疾病を予防するための諸活動を行っています。

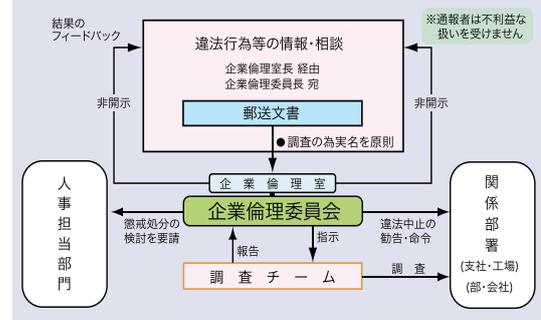
情報セキュリティ委員会

情報資産の機密性、完全性、可用性の確保、維持を全社的な立場で統括管理しています。

企業倫理委員会

コンプライアンス経営を推進するため、法令遵守に加え社会的な規範をも包含したコンプライアンス要綱(カワイ倫理規範、倫理行動規準を含む)を制定するとともに弁護士等外部有識者を加えた企業倫理委員会を設置しています。また企業倫理に関する統括部門である企業倫理室を主体に、企業倫理ホットラインの運営と従業員への教育、啓蒙によるコンプライアンス意識の向上に努めています。

企業倫理委員会・企業倫理ホットラインの流れ



製品安全対策委員会

万が一、市場に出た当社の製品に安全上の不具合があり、それが原因でお客様の生命身体に危害が及んだり、その可能性があると判断されるときに、お客様への告知、行政機関への報告、製品の回収といった対策を迅速に実行し、お客様への被害を最小限に止める諸活動を行っています。



株主・投資家の皆様へのIR活動に取り組んでいます

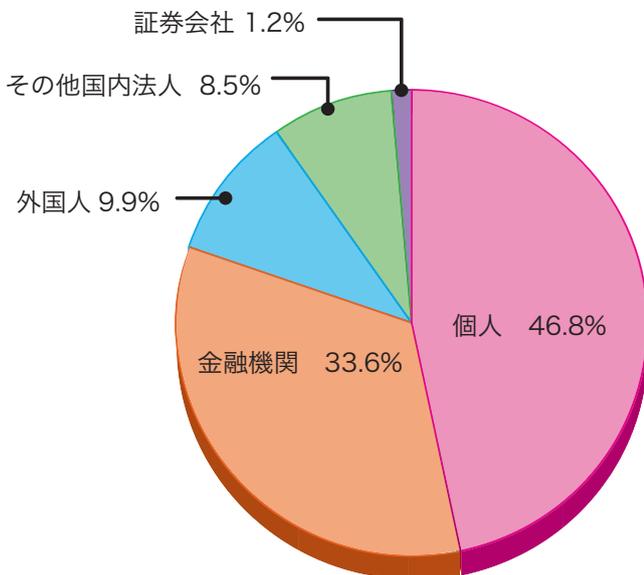
決算説明会

2012年5月22日、東京日本証券アナリスト協会にて、機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催いたしました。連結業績の概要を説明するとともに、2010年4月より始まっている第3次中期経営計画の進捗についての説明を行い、カワイの事業展開について、ご理解いただきました。

同説明会で使用した資料は、ホームページにて公開しております。下記画像をクリックしてご覧ください。



株式の所有者別状況 (2012年3月31日現在)



株式の発行状況

発行可能株式総数	普通株式	342百万株
発行済株式総数	普通株式	86百万株
株主総数	普通株式	9,309名

定時株主総会

2012年6月28日、カワイ本社にて第85期定時株主総会を開催いたしました。2009年より、事業報告において、プロジェクトとナレーションによる説明を採用し、グラフや写真を使ってわかりやすくご覧いただけるようにいたしました。

当日お越しいただいた株主の皆様へ、カワイの業績や事業展開について、より深くご理解いただきました。

事業報告書

株主の皆様には、事業報告書を年2回お送りしています。直近の財務情報に加え、トップのコミットメントや当期のトピックス、会社概況などをお伝えしています。



IRサイト

IR: Investor Relations の略。企業による投資家向けの情報提供などの広報活動。

ステークホルダーの皆様へカワイの経営戦略や財務内容を開示し適切な企業価値へと結びつける活動（IR活動）の手段としてカワイホームページにてIRサイトを開設しています。（<http://www.kawai.co.jp/ir/>）





文化貢献活動

音楽を通して広がる豊かで潤いのある社会を目指して、また、日本の音楽文化を育てるため、カワイは、さまざまな音楽活動や文化活動への支援を行っています。人々の心に感動の輪を広げたい。カワイの願いは着実に実を結んでいます。

カワイ音楽振興会

日本の音楽文化の向上をめざして、1963年に設立されました。以来、約50年、2000回を超える「カワイコンサート」の開催をはじめ、海外著名演奏家や音楽教育家の招聘事業、国内一流音楽家のリサイタル・公開講座など多彩な催しを企画実施しています。また、公開講座など、音楽を通して広がる豊かで潤いのある社会を目指し、さまざまな音楽活動や文化活動の支援を行なっています。これからも“Music for All”の理念のもと、すべての人々に良質な音楽を提供してまいります。以下のような多彩な活動を行っています。

カワイ音楽振興会サイトをご参照ください。

<http://kawai-kmf.com/>

カワイコンサート

1971年に日本中の人々に良い音楽をという理念のもとスタートした「カワイコンサート」は、発足以来、全国で2,171回(2012年3月末)の公演を行ってきました。国際的なピアニストから新進気鋭の若手演奏家まで多彩な演奏家を招いて、全国各地の皆さんに良い音楽との触れ合いを楽しんでいただいています。

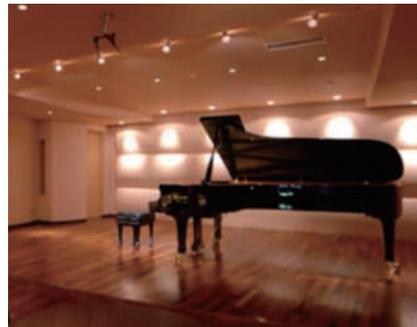
2012年のカワイコンサートは、世界を舞台に活躍するピアニストが登場します。また、ドビュッシー生誕150年を記念して、どの会場でもドビュッシーの作品をとり上げています。



カワイ・サロンコンサート in 表参道

ケヤキ並木を望むカワイ表参道のコンサートサロン「パウゼ」において、カワイ音楽振興会主催で、若手ピアニスト、演奏家によるサロンコンサートを年間80回以上開催しております。その他、以下の常設のシリーズがあります。

- 表参道サロンコンサートシリーズ
- 表参道 室内楽シリーズ
- 公開講座シリーズ



ヨーロッパ・カワイコンサート

1976年設立のカワイドイツランド GmbH を経て1979年に設立されたカワイヨーロッパ GmbH は、欧州におけるカワイの重要な拠点になっています。1990年にデュッセルドルフから北西方向25kmのクレフェルト市に移転して以来、1991年に始まったヨーロッパ・カワイコンサートはクレフェルト市「キャンパスホール」で行われています。

これまで200回以上のコンサートを開催しております。また、著名ピアニストを招聘してピアノマスタークラスを主催するなど、様々な文化事業を行ってきました。

さらに、浜松市とクレフェルト市との文化交流においても支援を行っております。



クレフェルト市 キャンパスホールの全景



カワイ音楽振興会の支援活動

日本ショパン協会への支援

日本ショパン協会は、ショパン生誕150年にあたる1960年、ポーランドのショパン協会との交流のもとに設立。「フレデリック・ショパン協会国際連盟」の会員として、世界各国のショパン協会と相互連携を保ちながら活動しています。

音楽交流、ショパン国際ピアノコンクールへの審査員派遣、参加者オーディションなどの活動を行ってきました。また年間最も優れたショパン作品を演奏したピアニストに対し「日本ショパン協会賞」を贈呈。毎年数回、ショパン作品を中心としたリサイタル・講座を開催しています。

<http://chopin-society-japan.com/>



日本・ロシア音楽家協会への支援



1984年、日ソ音楽家協会の名で、当時のソ連作曲家同盟議長のティホン・フレンニコフ氏と初代運営委員長故芥川也寸志氏の親交から、両国の音楽作品の交換演奏を中心とする音楽文化交流を目的に発足。

その後、ソ連の崩壊により「日本・ロシア音楽家協会」と名称を変更。新生ロシアと旧ソ連邦諸国との新たな交流活動に入る。ロシアとの文化交流コンサートを開催すると同時に、声楽・器楽のコンサートや公開レッスン、公開講座、シンポジウムなど開催しています。

<http://japan-russia-sfm.net/>



クロイツァー記念会への支援

ドイツと日本で活躍したレオニード・クロイツァー教授の遺徳をしのぶ門下生および関係者により1962年設立。日本のピアノ音楽界発展のために尽くすという設立主旨に沿って諸事業を行っています。1971年より、クロイツァー教授の功績を記念して「クロイツァー賞」を制定。教授が生前教鞭をとった「東京芸術大学」、「国立音楽大学」のほか、ゆかりの深かった「武蔵野音楽大学」の各大学院ピアノ専攻修了生の中から、特に優れた成績をおさめた人に賞金を贈呈。またこの受賞者を対象とした「クロイツァー賞受賞者演奏会」を1976年（昭和51年）より毎年開催するほか、特別演奏会や出版活動を行なっています。

<http://kawai-kmf.com/kreutzer/>



日本フーゴー・ヴォルフ協会への支援

ドイツ歌曲の偉大な作曲家フーゴー・ヴォルフの作品をより多くの音楽ファンに知ってもらうため、1963年に設立。例会・研究会活動のほか、ヴォルフに関する資料・楽譜の収集、公開などに積極的に取り組んでいます。

日本シマノフスキ協会への支援

カール・シマノフスキは、ショパンとともにポーランドを代表する作曲家です。1981年、彼の生誕100年を記念して設立。

ポーランド人の民族性、土俗性が表現された深い味わいがあるシマノフスキ作品を日本国内に広める活動を行っています。オーディション形式のフレッシュ・コンサートや、公開講座、例会等のコンサートを開催しています。



<http://kawai-kmf.com/szymanowski/>



心とからだのハーモニーをモットーに 全年齢層の健康づくりをサポートします

カワイ健康づくりシステム

少子高齢化・人口減少時代を迎え、健康づくりの重要性はますます高まっています。カワイ体育教室開設以来45年のキャリアを持つカワイならではのノウハウを生かし子どもから、大人、高齢者までそれぞれのステージに合わせた健康づくりをサポートしています。



体育コース

幼児から児童を対象に、自ら進んで運動に取り組み、運動する楽しさと能力を身につけるコースです。

運動あそび活動を通して子どもの、心とからだの調和をはかり、豊かな人生を歩む基礎を育てます。

そのために、走ったり、跳んだり、なわ、ボール等の用具を操作したり偏りのない運動を体験します。



スポーツコース

器械体操・新体操・サッカーなどスポーツの基礎を身につけるコースです。

技術だけではなく、ルールを学び、人とのコミュニケーションを学べるコースで一人ひとりの能力や、からだの発達と発育を考慮した指導を行っています。



特定保健指導の支援

厚生労働省が医療費削減対策として特定保健指導を義務化する中で、国のプログラムに合わせた支援を行っています。



介護予防事業の支援

厚生労働省の指針に沿って運動器の機能向上を支援します。

介護予防運動指導員養成セミナーを行い、指導者の育成を行っています。

介護保険法の改訂により多くの市町村で地域支援事業として介護予防への取り組みが強化されています。カワイは1次予防や2次予防を対象とした介護予防事業の支援をいたします。また、認知機能低下予防にも注目し活動しております。



カワイの認知症予防プログラム ～運動・音楽・脳げんき～

カワイネットシステム

ネットパル

体育教室と家庭をモバイルを使ってリアルタイムに結び「危機管理体制の充実」「運動の習慣化(生徒の日常の運動をサポート)」「家族の健康づくり」を実現します。

モバイルヘルスアップツール

携帯電話やパソコンの「双方向性機能」「情報処理機能」を使ってウォーキングや健康管理をサポートします。日常の健康づくりを支援しメタボリックシンドロームの改善に最適です。





スポーツコミュニティ

カワイ体育教室はトップアスリートと交流する場を提供する「スポーツコミュニティ」を展開しています。

カワイ体育教室では、全年齢の健康を考える『総合健康産業』として、子どもから大人・高齢者までさまざまなステージでの健康づくりに関わっています。

これまで、カワイ体育教室に参加する生徒を対象とした活動が中心でしたが、今後は多くの子供たちにトップアスリートの生の声や演技を伝えることで運動への興味関心とスポーツへの参加意欲を高め、運動習慣を獲得して生涯スポーツへとつなげる活動を展開していきます。この活動は、昨年8月から実施されている文部科学省が制定した「スポーツコミュニティ形成促進事業」認定を受けたもので、将来的には、公的な施設等にも活動の場を広げ、より多くの子供たちがトップアスリートと接する機会がもてるよう展開していきます。

＜カワイ体育教室 スタッフ紹介＞

チーフアドバイザー 水鳥寿思さん

2004年アテネオリンピック体操男子団体総合金メダリストで、2012年5月に現役を引退し、カワイ体育教室のチーフアドバイザーに就任しました。

各地区での講話や実技披露など、運動の楽しさを広めるとともに、幼児・児童の体力強化や大人の健康増進に向けた運動プログラムの監修にもあたっています。



新体操クラスチーフインストラクター 川本ゆかりさん

バルセロナオリンピック出場。2009年にカワイ体育教室の新体操クラスのチーフインストラクターとして契約し、カリキュラム開発や指導者の育成を担当しています。スポーツコミュニティも担当しています。



カワイカップ

器械体操・新体操・サッカーの全国大会です。年に一度全国の生徒の活動の発表の場として開催しています。

全国の仲間とのコミュニケーションの場楽しく、しかし真剣に子供たちが自分の実力を試す場となっています。





地域社会の発展と環境の向上に役立つ活動を積極的に推進しています

地域社会との共生

カワイグループでは、それぞれの事業所において積極的に地域社会の発展と環境の向上を目指して、地域社会への貢献活動と交流活動を行っています。

工場見学の受入

地域の小学生・中学生・高校生や次世代の音楽文化を担う学生さんたち、その他多くの皆様にカワイピアノに親しんでいただくために竜洋工場では工場見学を受入れております。カワイピアノが完成するまでの組立から仕上げの工程をご覧いただくことができます。

また、竜洋工場内のピアノ歴史資料室には復元した歴史的な楽器が展示されており、実際に弾いてその当時の音色を楽しむこともできます。

2011年度の見学者数は、2,593名でした。小学生をはじめ、多くの方々から見学後にあたたかい感想文のつづりを送っていただきました。



エコキャップ収集運動

カワイでは2008年よりエコキャップ収集運動を行っています。この運動は、ボトルキャップを焼却処分する際に発生する大量のCO₂を削減できるばかりでなく、リサイクルでの換金により世界の子供たちにポリオワクチンとして提供することができます。2012年7月10日までの回収で、累計排出CO₂削減量は1,242kg、ワクチンは197人分となりました。



ボトルキャップの回収をしているショッピングセンターへお渡ししました。



環境美化・保全活動

地域社会とのつながりを大切にしたいと考え、環境方針に基づいた環境活動として敷地内のみならず、工場周辺の主要道路の清掃活動などを通じて地域の美化・環境保全に積極的に取り組んでいます。



カワイ精密金属浜松工場の清掃活動の様子

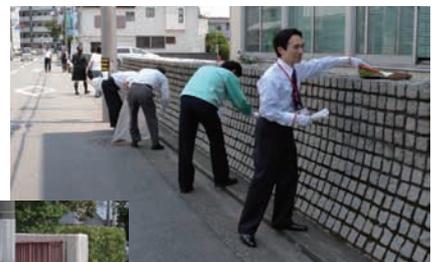


竜洋工場周辺の清掃活動

6月の『環境月間』

本社事業所では「本社の敷地及び周辺道路の清掃活動」を多くのボランティア参加者により行いました。

清掃活動中には近隣の方々から掃除道具の提供の申し出やお礼の言葉を頂くことができ、近隣とのコミュニケーションをはかることもできました。





各サイトそれぞれにおいて、地域社会へ参画しています

カワイの森を通じた活動

「カワイの森」は、インドネシアの現地法人・カワイインドネシア、インドネシア森林公社 (Perum Perhutani) およびマルガサルユ森林村市民組織と協働で植林活動が行われ、管理されています。

植林する場所は、インドネシア ジャワ島のカラワン県西トゥルクジャンベ郡の丘陵地です。

2011年度は、第4次植林として植林面積100ha、97,000本の植林を行いました。現在、225haの土地に180,000本の木々が育っています。

2012年度は、第5次植林として25haに48,500本を植林する予定です。



2007年12月植林当初



1～3次植林の現在



第4次植林契約と植林予定地視察



第4次植林

地域との交流

(株)カワイハイパーウッドでは毎年、地元住民の方をお招きし、工場で生産している商品を紹介するとともに工場内の特設会場でコンサートを開催しています。



2011年度は10月15日(土)に「東日本大震災復興支援チャリティコンサート」と題し、社員提供の品を販売するチャリティバザーも同時に開催されました。

第1部では、左手のピアニストとして有名な智内威雄さんの演奏を間近で聞くことができました。

第2部では、カワイ社員で結成したジャズバンドの演奏、さらに第3部では地元の中郡中学校ブラスバンド部1・2年生に演奏をお願いし、音楽を通じた交流ができました。

当日は多くの方からの義援金が集まり、バザー収益金と合わせ、被災地の大船渡市立第一中学校にピアノを贈りました。



チャリティバザー



智内威雄さん



大船渡市出身者が撮影した現地の写真の掲示



カワイ社員で結成したジャズバンド



浜松市立中郡中学校 ブラスバンド部の皆さん



お客様に愛され、親しまれるカワイを目指して

情報発信

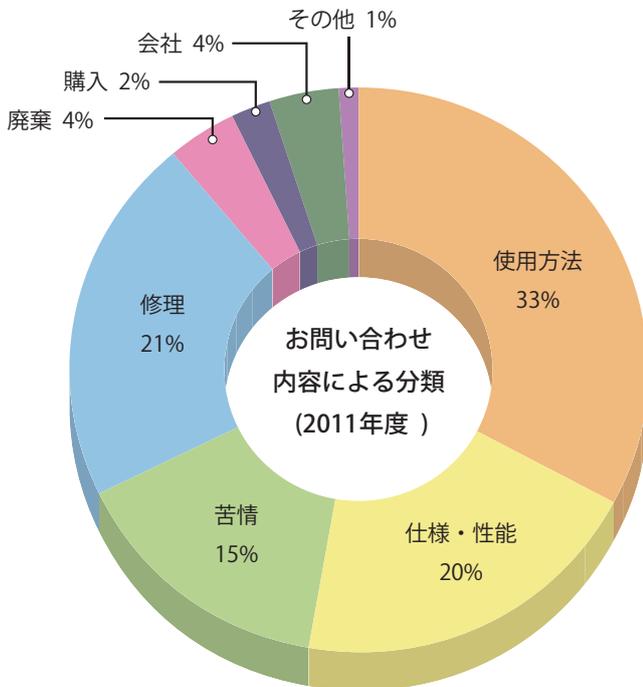
CS（顧客満足）への取り組み

楽器購入前のご相談、購入後の楽器のご使用方法に関するご相談等、お客様から寄せられる様々なご質問に誠実で迅速な対応を行うべく、お客様相談室で受付を行っております。音楽を愛する専門スタッフが皆様にとってかけがえのないパートナーを目指してサービスに努めております。

お客様相談室 TEL：053-457-1311

受付時間：

月曜日から金曜日までの 9:00～12:00、13:00～17:00



アフターサービスの実施

「ピアノは生きています」というと驚かれるでしょうが、ピアノには木材・羊毛・皮革など多くの天然素材が使われています。これらの材料はとても敏感で、温度や湿度の影響をまともに受けてしまうのです。ピアノの大部分を占める木材やハンマーのフェルトは常に呼吸をしている、まさに“生命体”であり、ピアノは大変デリケートなメカニズムを持つ楽器でもあります。

そこで私達が健康管理をするようにピアノにも“調律”という名のメディカルチェックが必要なのです。

カワイの調律師たちは厳しい訓練を受けた技術者で、ピアノの主治医として、ピアノを常にベストコンディションに保つためのケアをしています。

調律サービス部 TEL：053-457-1256

ピアノメンテナンスを通じた社会貢献

カワイは、ピアノの調律の啓発や技術の向上を目的とした団体である(社)日本ピアノ調律師協会(通称ニッピ)の主旨に賛同し、その活動に協力しています。

日本ピアノ調律師協会は、ピアノを国民の芸術的財産として位置づけ、その運営管理を行なうことにより社会道徳的要請に応えるべく、会員資質の向上、調律技術者の社会的信用の維持向上に取り組んでいます。カワイでは調律技術者のほとんどがニッピの会員です。

世界最大規模のアフターサービス網

約 280 名の調律師が直営ネットワーク(日本全国 110 拠点)に配置され、全国津々浦々のお客様の大切なピアノのアフターサービスに従事しています。全てカワイの社員です。入社後も、数々の技術研修制度により技術の研鑽に努め、お客様のご希望にお応えします。さらに、コンサート会場でのピアノ調律を担当する MPA(*)は、国内外のコンクールやコンサートの場でアーティストのハイレベルなご要望にもお応えしております。

(*)MPA:Master Piano Artisan

(マスターピアノアーティザン:社内資格)



環境社会報告書のホームページによる開示

カワイのホームページのトップページの「会社情報」から、「環境への取り組み」に進んでいただきますと、過去の環境報告書もご覧いただけます。

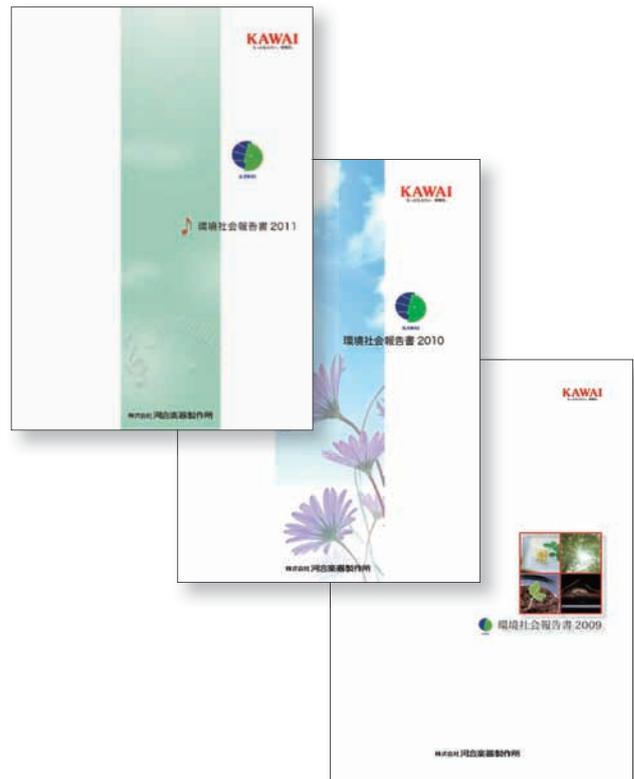
<http://www.kawai.co.jp/company/activity/ambience.asp>



環境社会報告書の継続的発行

カワイでは2001年より毎年、「環境報告書」を発行し、2004年からは社会的側面についても記載し、「環境社会報告書」を発行しています。

多くの皆様に持続可能な社会の実現に向けたカワイの活動を知っていただくよう今後も情報提供を続けてまいります。





環境負荷サイト別一覧

				参 考		基 準 年				
				1990	2007	2008	2009	2010	2011	基準年比
竜洋工場 静岡県磐田市 (旧舞阪工場を含む) 事業内容：ピアノ製造 敷地面積：168,218㎡	INPUT	電気	GJ	101,341	67,564	61,328	57,359	58,134	56,822	-0.9%
		燃料	GJ	28,253	21,067	16,447	17,501	18,688	17,354	-0.8%
		水	千㎡	3,330	46.3	35.9	36.0	39.0	38.5	7.0%
		化学物質	ton	0	58.6	47.0	26.3	42.6	35.7	35.7%
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	7,632	5,250	4,576	4,429	3,973	3,819	-13.8%
		化学物質	ton	0	21.3	12.3	11.0	11.2	6.6	-40.1%
		廃棄物 焼却・埋立	ton	437.3	52.7	50.4	26.0	33.7	24.7	-4.9%
		廃棄物 再資源化	ton	102	876.7	811.0	691.3	826	810.7	17.3%
(株)カワイハイパーウッド 静岡県浜松市東区中郡町 事業内容：自動車内装部品製造 敷地面積：15,074㎡	INPUT	電気	GJ	14,787	21,726	14,636	15,141	14,307	15,822	4.5%
		燃料	GJ	11	6,960	4,189	4,704	3,778	4,652	-1.1%
		水	千㎡	28.6	10.1	5.7	5.3	5.2	5.8	9.0%
		化学物質	ton		50.6	24.4	26.9	23.4	20.7	-23.0%
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	1,250	1,702	1,111	1,170	921	1,052	-10.1%
		化学物質	ton		14.1	7.3	8.6	4.3	0.6	-92.7%
		廃棄物 焼却・埋立	ton	218.2	81.6	58.9	44.9	36.2	55.1	22.7%
		廃棄物 再資源化	ton	32.3	101.8	63.7	77.3	31.9	57.8	-25.3%
メルヘン楽器(株) 静岡県周智郡森町 事業内容：電子楽器製造 敷地面積：11,583㎡	INPUT	電気	GJ	3,914	3,251	2,949	2,210	2,201	847	-61.7%
		燃料	GJ	74.7	11.3	10.7	9.5	8.4	1.2	-87.8%
		水	千㎡	0.6	2.7	3.4	2.9	1.9	0.8	-73.7%
		化学物質	ton							
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	223	182	165	124	101	39	-68.8%
		化学物質	ton							
		廃棄物 焼却・埋立	ton	7.3	5.3	3.0	1.6	0.0	1.6	0.0%
		廃棄物 再資源化	ton	0	63.9	39.7	7.6	59.9	11.2	47.8%
(株)カワイ音響システム 静岡県浜松市東区篠ヶ瀬町 事業内容：防音室・音響部材の製造 敷地面積：2,972㎡	INPUT	電気	GJ				1,067	1,125	955	-10.5%
		燃料	GJ				0.0	0.0	0.0	
		水	千㎡				0.0	0.0	0.0	
		化学物質	ton							
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂				59	51	44	-26.1%
		化学物質	ton							
		廃棄物 焼却・埋立	ton				0.0	0.0	0.0	
		廃棄物 再資源化	ton				2.9	2.4	2.8	-4.1%
カワイ精密金属(株)浜松工場 静岡県浜松市北区新都田 事業内容：金属部品製造 敷地面積：26,817㎡	INPUT	電気	GJ		38,528	34,412	37,622	38,968	34,651	-7.9%
		燃料	GJ		12.8	11.6	11.1	10	8.7	-21.9%
		水	千㎡		17.8	17.9	18.7	22.8	20.0	7.1%
		化学物質	ton		49.7	34.0	32.3	20.7	25.2	-22.0%
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂		2,145	1,916	2,095	1,779	1,582	-24.5%
		化学物質	ton		44.0	32.0	31.0	15.0	23.4	-24.5%
		廃棄物 焼却・埋立	ton		27.8	22.6	18.5	15.5	20.0	8.1%
		廃棄物 再資源化	ton		32.5	20.6	32.4	14.8	19.7	-39.2%
カワイ精密金属(株)松本工場 長野県松本市 事業内容：金属部品製造 敷地面積：14,612㎡	INPUT	電気	GJ	57,070	56,882	53,203	45,411	50,632	34,959	-23.0%
		燃料	GJ	7,132	7,350	4,744	7,526	7,399	4,576	-39.2%
		水	千㎡	42.1	74.6	70.8	78.5	87.5	84.2	7.3%
		化学物質	ton		77.4	52.0	72.9	85.0	40.8	-44.0%
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂	3,674	3,686	2,679	3,060	2,834	1,919	-37.3%
		化学物質	ton		58.8	38.0	52.9	60.0	39.3	-25.7%
		廃棄物 焼却・埋立	ton		16.9	12.0	10.5	12.4	13.8	31.5%
		廃棄物 再資源化	ton		100.4	77.9	61.4	78.6	68.7	11.8%
本社 静岡県浜松市中区寺島町 事業内容：本社機能、研究開発 敷地面積：6,784㎡	INPUT	電気	GJ		12,096	10,834	9,620	9,823	8,960	-6.9%
		燃料	GJ		1,227	646	484	626	597	23.4%
		水	千㎡		8.7	7.8	7.4	7.7	5.1	-31.1%
		化学物質	ton							
	OUTPUT	CO ₂ 排出量	ton-CO ₂		752	644	541	492	450	-16.8%
		化学物質	ton							
		廃棄物 焼却・埋立	ton		0.0	0.0	0.0	0.0	6.4	
		廃棄物 再資源化	ton		32.9	30.2	24.9	22.8	14.7	-40.8%



第三者意見

本報告書には、カワイグループの事業活動にともなう環境配慮、社会的責任に対する取り組みがまとめられており、文章を極力減らして図や写真を多用することで、わかりやすい報告書になるよう工夫されている。

2011年3月以降、東日本大震災被災地への復興支援に継続して取り組んでいるが、カワイハイパーウッドの「ふれあいコンサート」、秦万里子さんのチャリティーコンサートに加えて、音楽・体育教室講師による、きめ細かい支援活動を実施しており、被災地へのピアノの寄贈も積極的におこなっている。なお、日本を代表するピアニスト27名による9回のコンサート「チャリティーコンサート at カワイ表参道」は、企業が主体となっておこなうチャリティーコンサートの稀有な規模の企画となっており、復興を祈る熱い気持ちが伝わるものとなっている。

環境報告の項目ではCO₂排出量原単位が2009年度比9.6%減となり目標を達成できていることがわかる。また、廃棄物排出量原単位については2009年度から7.3%増で目標を達成できていないが、これは生産合理化にともなう部品製造工程の構内への移設等の影響によるものである。排出量を部品調達率で補正する等の整理をおこなえば、取り組みの成果をより強調できるかもしれない。なお、補正しなくても廃棄物排出量は前年度比で減少に転じており、排出量削減の取り組みが継続されていることがわかる。また、環境負荷の低い製品の開発、リサイクル・リユースの取り組みに加えて、夏の節電活動にも力を入れている様子が見て取れるが、特に節電活動では前年比11%もの電力使用量の削減を達成しており、節電への熱心な取り組み

がわかる内容となっている。なお、環境マネジメントシステムの海外展開では、インドネシアの生産工場ですでに、ISO14001の認証を取得しており、中国においても認証の手続きを進めている。

社会性報告の項目では、社内のコンプライアンス体制・内部統制システム、リスク管理体制が適正にまとめられている。また、ホームページ上には投資家向け情報サイトも開設され適切な情報開示の手段がとられている。

カワイグループでは、生産事業所でISO14001や、エコアクション21の仕組みをいち早く導入し、環境保全に関する方針や目標を自ら設定して、それを達成するための取り組みを先進的に進めてきたが、今後は、一般的な省エネ法の改正で求められている、国内の当社、営業組織に対する環境マネジメントシステムの適用も視野に入れた取り組みが必要である。

以上のように、本報告書は目標とそれに向けた努力、達成度をわかりやすく示した、環境社会報告書として優れた内容のものとなっている。今後、さらに高い達成度をめざした取り組みが期待される。



東京工業大学大学院
理工学研究科 教授
中崎 清彦 氏

第三者意見を受けて

昨年度に続き、東京工業大学大学院教授 中崎清彦先生から第三者意見をいただくことができました。心より御礼申し上げます。

東日本大震災被災地への音楽を通じた継続的支援活動と夏の節電活動、長年取り組んでいますCO₂排出量につきましてご評価を戴いたことは大きな喜びであります。

また、ご指摘いただきました廃棄物排出量の削減や環境マネジメントの推進につきましては今後、いっそう充実させるとともに、皆様へより分かりやすい情報の開示ができるよう務めてまいります。 (地球環境委員会 事務局)

最後までお読みいただきましてありがとうございました。今後の参考とさせていただきますので、下記アンケートにご記入の上、恐れ入りますが、この頁をFAXまたは郵送して頂ければ幸いです。

カワイ 環境社会報告書 2012 へのご意見・ご感想

該当項目の□にチェックをお願いします。

Q1 環境社会報告書をどのようなお立場でお読みになりましたか？

- | | | |
|------------------------------------|---|---|
| <input type="checkbox"/> 投資家・株主として | <input type="checkbox"/> 河合楽器と取引関係にある | <input type="checkbox"/> カワイグループの従業員・家族 |
| <input type="checkbox"/> 政府・行政機関 | <input type="checkbox"/> 環境 NGO・NPO として | <input type="checkbox"/> 報道機関 |
| <input type="checkbox"/> 企業の環境担当者 | <input type="checkbox"/> 学生 | <input type="checkbox"/> 環境専門家・教育者・研究者 |
| <input type="checkbox"/> 事業所近隣の方 | <input type="checkbox"/> 製品のユーザー | <input type="checkbox"/> その他() |

Q2 環境社会報告書を何でお知りになりましたか？

- | | | |
|--|-----------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ホームページ(カワイ・カワイ以外) | <input type="checkbox"/> 環境セミナー等で | <input type="checkbox"/> 新聞・雑誌 |
| <input type="checkbox"/> 営業マン・教室・先生から | <input type="checkbox"/> その他() | |

Q3 この環境社会報告書をお読みになってどのようにお感じになりましたか？

- | | | | |
|-------------|--------------------------------|-----------------------------|---------------------------------|
| ・報告書のわかりやすさ | <input type="checkbox"/> よくわかる | <input type="checkbox"/> 普通 | <input type="checkbox"/> わかりにくい |
| ・内容 | <input type="checkbox"/> 充実 | <input type="checkbox"/> 普通 | <input type="checkbox"/> 物足りない |
| ・情報量 | <input type="checkbox"/> 多すぎる | <input type="checkbox"/> 適切 | <input type="checkbox"/> 不足である |

Q4 興味をもたれた記事、印象に残った項目は？(いくつでも)

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 表紙 | <input type="checkbox"/> 環境配慮型製品 |
| <input type="checkbox"/> カワイグループの事業と会社の概況 | <input type="checkbox"/> 消音型グランドピアノ“ANYTIME(エニタイム)X” |
| <input type="checkbox"/> 編集方針 | <input type="checkbox"/> サイエンスナサール |
| <input type="checkbox"/> 社長コミットメント | <input type="checkbox"/> 省電力 |
| <input type="checkbox"/> カワイの経営の理念・行動指針 | <input type="checkbox"/> 環境パフォーマンス |
| <input type="checkbox"/> カワイグループのあゆみ | <input type="checkbox"/> マテリアルバランス |
| <input type="checkbox"/> 東日本大震災 被災地域への支援活動 | ◎社会性報告 |
| ◎環境報告 | <input type="checkbox"/> 経営計画 |
| <input type="checkbox"/> カワイの環境への取り組み | <input type="checkbox"/> 第3次中期経営計画 |
| <input type="checkbox"/> 地球環境憲章・環境方針・環境推進組織 | <input type="checkbox"/> コーポレートガバナンス |
| <input type="checkbox"/> 環境経営 | <input type="checkbox"/> 株主・投資家の皆様とともに |
| <input type="checkbox"/> 2011年度の環境目標と実績 | <input type="checkbox"/> お客様との関係 |
| <input type="checkbox"/> 事業活動にともなう環境配慮 | <input type="checkbox"/> 文化貢献活動 |
| <input type="checkbox"/> 地球温暖化の防止 | <input type="checkbox"/> コミュニケーション |
| <input type="checkbox"/> 製品の環境負荷(LCA) | <input type="checkbox"/> 地域社会との共生 |
| <input type="checkbox"/> 廃棄物削減・再資源化 | <input type="checkbox"/> 情報発信 |
| <input type="checkbox"/> グリーン調達 | ◎資料編 |
| | <input type="checkbox"/> 環境負荷サイト別一覧 |
| | <input type="checkbox"/> 第三者意見 |
| | <input type="checkbox"/> アンケートのお願い |

Q5 環境社会報告書の内容についてのご意見や、改善するためのご提言をいただければ幸いです。

ご協力ありがとうございました。差し支えなければ下欄にご記入願います。(個人情報に関しましては、ご本人の承諾がない限り第三者に開示することは一切ございません)

お名前	ふりがな
	男・女 年齢 歳
ご住所 (勤務先・ご自宅)	〒 —
ご連絡先	TEL FAX E-mail
ご職業 (勤務先・部署・役職名)	

FAX 053-457-1250

〒430-8665 浜松市中区寺島町200番地 株式会社 河合楽器製作所 生産統括部 CS環境室 行

KAWAI
もっと伝えたい、感動を。

株式会社 河合楽器製作所

お問合せ先

河合楽器地球環境委員会

事務局：生産統括部CS環境室

〒430-8665 静岡県浜松市中区寺島町200番地

TEL: 053-457-1252 FAX: 053-457-1250

URL: <http://www.kawai.co.jp>

